

平成27年度 事業報告

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

平成27年度事業報告

<日本広告業協会の事業目的と活動体制>

平成27年の「日本の広告費（電通発表）」は、6兆1,710億円、前年比100.3%と、4年連続で増加した。ミラノ万博、企業業績の大幅な伸張、所得増への期待があったものの、前年の消費増税前の駆け込み需要や「ソチオリンピック2014」、「2014FIFAワールドカップ ブラジル大会」開催に伴う反動減、海外経済の景気減速や個人消費の伸び悩みなどが影響し、通年で前年比100.3%となった。

また、経済産業省の動態統計においても平成27年の広告業の売上げは、前年比102.7%であった。

このような経済環境の中、当協会は、「会員に共通する利益を図るため、広告業の健全な発達と広告活動の改善向上に関する事業を行い、併せてわが国経済の発展と国民生活の向上に寄与すること」を目的に、一般社団法人4年目を迎えた平成27年度事業は、広告業界の共通の課題である「広告の活性化」に向けて会員社のための共益事業をより一層効率的に推進した。

当協会は、理事会を最高執行機関とし、「協会の運営」と「事業活動」を進めており、事業活動は、「広告と広告業のPR」、「教育と研究」、「取引合理化関係」であり、運営委員会、特別委員会と9つの事業委員会が対応した。

1 協会の運営

平成27年度の会員社の動勢は、入会2社退会5社で、平成28年3月31日現在の会員社数は146社となった。役員は改選期のため、平成27年6月1日開催の定時総会で理事33名、監事3名を選出した。

また、平成27年度定時総会以降に退任した理事は1名で、年度末の理事総数は32名となった。

入会資格審査委員会は、入会申請2社の資格審査を行った。

法務委員会では、消費者契約法や特定商取引法見直しに関する広告法規制の動きに、関係団体とともに対応した。

また、景品表示法をテーマに、「広告法務セミナー」を関係団体と東京・大阪にて、食品の広告表示規制をテーマに、「法務セミナー」を東京で開催した。

「土地差別調査問題」から発生した人権問題に関連した「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の周知も行った。

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」は、平成29年度内にテレビCMのオンライン運用の開始を目標としたモデル案を整理し、関係ステークホルダーとの協議を開始した。

財務委員会は、平成26年度決算や平成27年度補正予算及び決算見込等について、審議した。

吉田秀雄記念賞選考委員会関係では、平成27年度定時総会記念式典において第50回の贈賞、並びに第51回の同賞の選考を行った。

役員選挙管理委員会は、2年ごとに行われる役員改選の選挙管理を行った。

理事会は7回、運営委員会は6回開催した。委員会、小委員会等は155回、プロジェクトは5回、研

研究会・セミナー・講演会を30回開催した。

2 広告と広告業のPR

PR委員会は、「広告」を正しく理解してもらうために「広告の広告：(コピー) うれしい気持ち、ひろがるね。広告は心のスイッチ。」を展開した。広告原稿の制作はPR委員会委員会社が担当し、日本新聞協会、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会の会員社、電通報の協力を得て広告を掲載した。協会事業の広報については、会員社、広告関係団体、広告専門紙・誌に適宜周知を図るとともにホームページに掲載した。

PR委員会に所属する「広告の機能と役割」研究小委員会は、7月に「広告の機能と役割を再考する～情報行動と広告～」をテーマに研究発表会を開催した。

会報編集委員会は、協会報「JAAAレポート」を毎月1日に発行し、協会活動や広告界の動き等を報告した。

3 教育と研究

教育セミナー委員会は、4月に「第43回新入社員教育セミナー」を、11月に「第21回フォローアップセミナー(新人対象)」を開催した。

第29回「広告と人権」セミナーは「パラスポーツと『切断ヴィーナス』」をテーマに12月に、「個人情報保護セミナー」は3月に開催した。

懸賞論文委員会は、6月の定時総会記念式典において第44回懸賞論文入賞・入選者を表彰すると共に「入賞・入選作品集」としてJAAAレポート臨時増刊号を発行した。

また第45回懸賞論文の募集については初の試みとして、7月2日、エントリー説明会を実施し、過去最高の612編の応募を得た。全応募作品から、「論文」テーマ「広告が動く、動かす」においては、金賞、銀賞、銅賞を、「私の言いたいこと」〈一般部門〉、〈新人部門〉においては、入選作を選出し、3月に発表した。

海外交流委員会は、「コンテンツ新時代、2020年の広告会社の姿を探る」をテーマに第42回海外広告研修団を9月にアメリカへ派遣し、企業研修とアドバタイジングウィークのイベントに参加し、研修成果の報告は「JAAAレポート」臨時増刊号として11月30日に発行した。また、シンガポールにおいて9月に開催されたスパイクスアジア2015にも研修ツアーを実施、成果報告を協会ホームページに掲載した。当協会が加盟するアジア広告業協会連盟の活動では、アジア太平洋(APAC) エフィー・アワードの応募推進等を支援した。

クリエイティブ委員会は、賞実行小委員会による運営の中で、「2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー」1名、「メダリスト」8名を選出した。また、クリエイティブ研究会を7月から11月にかけて全国6地区で2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者を講師として、また3月には「クリエイティブ未来予想図～テクノロジーの進化が変えるもの／変えないもの」をテーマに開催し、広告関係者や学生等のクリエイティブの資質向上に努めた。著作権小委員会は、一般視聴者からの広告におけるクレーム問

題を検討し、「CM表現クレーム◎11の対応原則」リーフレットを作成した。制作取引小委員会は、制作現場でのドローンの安全な運用等を研究した。

広告問題研究委員会は、経済産業省からの業界情報の提供依頼に協力した。また、同委員会に所属する環境小委員会は「環境モラルアップを促すインナー向けプロモーション」の一環として第4回の「環境モラルアップポスター」を募集、入賞作品を10月に選出・発表し、会員全社に配布した。

4 取引合理化関係

取引合理化委員会・メディア委員会・クリエイティブ委員会に所属する、情報システム小委員会、営業課題検討小委員会、デジタル特別委員会、テレビ小委員会、著作権小委員会、制作取引小委員会の6委員会からなる横断プロジェクト「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」も活発に活動した。活動の要点は以下の通り。

[1] 取引合理化委員会

(1) 取引合理化小委員会

- 「マイナンバー法」の対応について
- 「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂について

(2) 情報システム小委員会

- 情報システムアンケートの実施
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

(3) ビジョン小委員会

- 「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award (ICA)」の第2回発表と、第3回の募集と審査

(4) 営業課題検討小委員会

- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

[2] メディア委員会

(1) メディア委員会

- 日本民間放送連盟第11回「日本放送文化大賞」に審査員を派遣
- 日本民間放送連盟・営業委員会との情報交換

(2) デジタル特別委員会

- 「CM素材ファイル運用促進プロジェクト（アドミッション・フェーズ2）」でCM登録認証サービス（CMAS）の運営
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」の推進

(3) テレビ小委員会

- 字幕付きCMに関する検討—「字幕付きCM普及推進協議会」等の活動
- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力
- 「動画広告フォーラム」の検討と実施

- 有事の際のテレビCMの検討
- 「放送確認書」の誤記載調査の実施
- 共通コード管理センターに関する対応

(4) ラジオ小委員会

- ラジオCM素材のオンライン運用の推進
…ラジオCM素材搬入基準の周知活動
…ラジオCM運行ワーキンググループと日本民間放送連盟との合同検討
- ラジオCMの活性化に対するヒアリングの実施と検討

(5) 新聞小委員会

- 新聞広告掲載確認（モニタリング）調査の実施
- 日本新聞協会からの「新聞広告掲載状況報告」の受領
- 新聞広告に関わる業界の課題の検討
N-PDFの推進／NSACへの協力

(6) 雑誌小委員会

- 「雑誌広告デジタル送稿推進協議会」関連
…雑誌純広告「オンライン送稿」の普及促進

(7) 交通広告小委員会

- 交通広告セミナーの実施
- 日本鉄道広告協会との連携
…交通広告の共通指標策定に向けた実証調査の実施

(8) インターネット広告小委員会

- アドテック東京2015におけるJ A A Aワークショップの提供
- オンライン広告の認知効果の共通指標づくりの推進
- 会員社向けインターネット広告セミナーの実施

(9) メディア調査研究小委員会

- 「民放地上デジタル放送視聴環境 世帯数調査」データの検討
- メディアデータの調査手法、効果基準の情報収集及び研究
…BS機械式視聴率・デジタル広告視聴率について
…オンライン広告の認知効果の共通指標について、等
- 「現行視聴率調査にかかわる検討会」（日本アドバイザーズ協会、日本民間放送連盟、当協会で構成）への参加

[3] クリエイティブ委員会

[1] 小委員会の活動

(1) 著作権小委員会

- 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

(2) 制作取引小委員会

-
- 広告会社の制作取引全般に関する検討
 - 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への協力

以上、当協会は関係団体との相互理解と協力関係の下、様々な課題への対応の活動を行ってきた。会員各社には、この状況へのご理解・ご支援を頂くと同時に、協会活動への積極的なご参加をお願いしたい。

平成27年度 事業報告附属明細書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1

協会の運営

【1】平成27年度定時総会

当協会が一般社団法人に移行して第4回目の定時総会を、以下の通り開催した。

- 日 時：平成27年6月1日（月）13時30分～16時30分
- 会 場：パレスホテル東京・2階・葵
- プログラム：

【定時総会】

1. 開会
1. 議長選任
1. 議事録署名人選任
1. 議事

[報告事項]

1. 平成26年度事業報告の件
2. 平成27年度事業計画並びに収支予算報告の件

[決議事項]

- 第1号議案 平成26年度決算報告承認の件
- 第2号議案 平成27・28年度役員選任の件

1. 閉会

定時総会は会員代表者149名の内、当日出席69名、代理出席9名を含む委任状の提出69名、合計138名が出席とみなされ、定款第17条及び第18条により定時総会は有効に成立した。

報告事項の説明の後、決議事項として、第1号議案「平成26年度決算報告承認の件」および第2号議案「平成27・28年度役員選任の件（役員候補者 理事33名、監事3名）」が多数の賛成で承認され、閉会した。

※本総会をもって退任した役員は以下の通り。

- 正盛 和彦 理事（オリコム）
- 島田 誠一 専務理事（日本広告業協会）

【第285回理事会】

総会閉会后、別室にて新役員による理事会を開催、内藤好徳理事を議長に選任し、以下の審議を行い決議した。

1. 理事長・副理事長・専務理事の選定の件

以下の通り決定した。

- 理 事 長 高嶋 達佳（電通 会長）
- 副理事長 成田 純治（博報堂 代表取締役会長）

- 副理事長 長沼孝一郎 (アサツー ディ・ケイ 最高顧問)
- 副理事長 岩井 秀一 (大広 代表取締役会長)
- 専務理事 村井 知哉

2. 会長・顧問の推薦の件

理事会は、俣木氏を会長、島田氏を顧問に推薦、理事長が委嘱することとした。

- 会 長 俣木 盾夫 (電通 相談役)
- 顧 問 島田 誠一 (日本広告業協会 元専務理事)

3. 運営委員会・特別委員会委員等に関する件

平成26年度委員が継続して就任した。

4. その他

「役員の報酬は、無報酬であるが、常勤理事は従前の通り」と確認した。

【理事長あいさつ】

高嶋理事長が、「平成26年の日本の広告費は、6兆1,522億円、前年比102.9%と、3年続けて前年を上回り、6年ぶりに6兆円台を回復することができた。マス四媒体では新聞が前年割れ、雑誌が前年並み、テレビ・ラジオが前年を上回った一方で、インターネット広告費が前年比112.1%で初めて1兆円を超えるなど、広告を取り巻く環境変化が如実に表れた。アドバイザーの変化、メディアやコミュニケーション・ツールの変化、生活者の変化が複合的にからみあう現状の中で、日本広告業協会はひとつずつ課題に取り組んで行く所存である。当協会はその目的である『会員に共通する利益を図るため』、本日ご報告した平成27年度の事業計画に沿って、さらに協会活動を充実させたいと考えている。今後ともよろしくお願ひしたい」とあいさつを行った。

【記念式典】

第44回懸賞論文表彰式

2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞表彰式

第50回吉田秀雄記念賞贈賞式

表彰状は、高嶋理事長から贈呈した。

なお、記念式典からは広告主、媒体社、関係団体等広告関係者が出席し、総勢675名となった。

【懇親パーティー】

懇親パーティーは、今回も東北地方の食材を使用した震災復興支援メニューとした。

【2】平成27年度会員代表者懇談会

会員代表者の情報交換・交流の場として、以下の通り開催した。

- 日 時：平成27年12月8日 (火) 17時～19時30分
- 会 場：帝国ホテル 本館中2階「光の間」
- プログラム：理事長あいさつ

記念講演「政治から読み解く2016年日本の行方」

講師 後藤 謙次 (ジャーナリスト)

着席buffeスタイルにて会食・懇談

- 参加者：92名

[3] 理事会

[1] 理事会の開催

(1) 第284回理事会 (平成27年4月24日)

① 業務執行状況報告

② 決議事項

- ◇ 平成26年度決算報告承認の件
- ◇ 平成27年度(補正)収支予算案承認の件
- ◇ 専務理事候補者承認の件
- ◇ 平成27・28年度役員候補者承認の件
- ◇ 平成27年度定時総会招集通知承認の件
- ◇ 利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(2) 第285回理事会 (平成27年6月1日)

① 業務執行状況報告

② 決議事項

- ◇ 理事長・副理事長・専務理事の選定の件
- ◇ 会長・顧問の推薦の件
- ◇ 運営委員会・特別委員会委員等に関する件

以上、全て原案通り承認された。

(3) 第286回理事会 (平成27年7月10日)

① 業務執行状況報告

② 決議事項

- ◇ 入会申請に関する件
- ◇ 「日本広告業DC企業型年金(確定拠出年金)規約に係る取扱規程」承認の件
- ◇ 利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(4) 第287回理事会 (平成27年9月11日)

① 業務執行状況報告

② 決議事項

- ◇ 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」検討提案<中間報告>承認の件
- ◇ 第4回「環境モラルアップポスター」入賞作品承認の件

◇役員退職慰労金承認の件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(5) 第288回理事会 (平成27年11月13日)

①業務執行状況報告

②決議事項

◇平成27年度上期収支決算報告承認の件

◇入会申請に関する件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(6) 第289回理事会 (平成28年2月4日)

①業務執行状況報告

②決議事項

◇第51回吉田秀雄記念賞受賞者承認の件

◇予備費使用承認の件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

(7) 第290回理事会 (平成28年3月11日)

①業務執行状況報告

②決議事項

◇第45回懸賞論文入賞・入選者承認の件

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者承認の件

◇第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」受賞承認の件

◇マイナンバー関連規程案承認の件

◇平成27年度事業報告案承認の件

◇平成28年度事業計画案承認の件

◇平成28年度収支予算案承認の件

◇平成28年度定時総会開催承認の件

◇利益相反取引報告承認の件

以上、全て原案通り承認された。

[2] 理事長・副理事長会議

(1) 4月度書面持ち回り理事長・副理事長会議

◇専務理事人事について

(2) 5月度書面持ち回り理事長・副理事長会議

◇平成27年度業務執行理事体制について

[3] 褒章受章

平成27年秋の叙勲褒章にて、俣木会長が経済社会の発展の顕著な功績により旭日重光章を受章した。

◇旭日重光章 俣木 盾夫 (電通 相談役)

[4] 稲垣正夫元副理事長の逝去

平成27年4月16日、当協会・稲垣正夫元副理事長 (アサツー ディ・ケイ/創業者) が逝去され、正五位が叙位された。

[5] 理事の辞任

◇平成27年6月22日付

浅香 彰彦 (電通アドギア)

[4] 監査

(1) 会計検査

監事会社の経理担当者による会計検査を下記の通り実施した。

- 平成27年 4月10日…平成26年度決算報告
- 平成27年10月22日…平成27年度上期収支決算報告

(2) 監査

監事による監査を下記の通り実施した。

- 平成27年 4月13日…平成26年度決算報告並びに業務執行状況報告
- 平成27年10月27日…平成27年度上期収支決算報告並びに業務執行状況報告

[5] 運営委員会 (委員長:長沼孝一郎)

[1] 委員の交替

島田 誠一 (日本広告業協会)

→ 村井 知哉 (同協会 専務理事)

[2] 委員会の開催

- ◇平成27年 4月16日…第284回・第285回理事会提出議案について
- ◇平成27年 7月 3日…第286回理事会提出議案について
- ◇平成27年 9月 4日…第287回理事会提出議案について
- ◇平成27年11月 6日…第288回理事会提出議案について
- ◇平成28年 1月28日…第289回理事会提出議案について
- ◇平成28年 3月 4日…第290回理事会提出議案について

[3]直轄の委員会・プロジェクト

(1) 入会資格審査委員会 (委員長:内藤 好徳)

①委員の交替

正盛 和彦 (オリコム)

→ 大塚 尚司 (同社 代表取締役社長)

島田 誠一 (日本広告業協会)

→ 村井 知哉 (同協会 専務理事)

②委員会の開催

◇平成27年 6月12日 入会申請社の資格審査について

◇平成27年10月14日 入会申請社の資格審査について

◇平成28年 3月29日 入会申請社の資格審査について

(2) 法務委員会 (委員長:永江 禎)

①委員の補充

真栄田 祐子 (I&S BBDO リーガル&コンプライアンスマネージャー)

吉山 泰弘 (広告社 管理本部管理)

②広告法務セミナー

関連団体と共催で以下の通り開催した。

■東京開催

- 日 時：平成27年8月4日 (火) 13時30分～16時35分

- 会 場：一橋大学一橋講堂

- プログラム：「景品表示法の運用状況と違反事例について」

講 師 真 淵 博 (消費者庁 表示対策課長)

「平成26年度のJARO広告審査の概況と事例」

講 師 吉 田 巖 (日本広告審査機構 審査部)

- 共 催：6団体=日本広告審査機構、日本アドバイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会

- 参加者：300名

■大阪開催

- 日 時：平成27年9月11日 (金) 13時30分～16時35分

- 会 場：電通 関西支社 12階大ホール

- プログラム：「景品表示法の運用状況と違反事例について」

講 師 真 淵 博 (消費者庁 表示対策課長)

「平成26年度のJARO広告審査の概況と事例」

講 師 黒 岩 達 哉 (日本広告審査機構 審査部長)

- 共 催：8団体=大阪広告協会、大阪アドバイジングエージェンシーズ協会、日本広告審査機構、日本アドバイザーズ協会、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本広告制作協会、日本インタラクティブ広告協会、日本広告業協会

- 参加者：130名

③「機能性表示食品」導入後の食品の広告表示規制の現状と動向に関する消費者庁セミナー

- 日 時：平成27年11月19日（木）10時～11時30分
- 会 場：電通ホール
- 講 師：金子 智門（消費者庁 表示対策課食品表示対策室食品表示調査官）
- 共 催：日本広告業協会、日本インタラクティブ広告協会
- 協 力：電通
- 参加者：270名

④大阪府の人権啓発活動への協力について

大阪府より、「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」の啓発推進月間（10月）にあたり、啓発パンフレットの協会名義記載について協力依頼があり、これを了承、その啓発推進チラシに関し周知依頼があり、10月1日、会員全社に送付した。

⑤特定商取引法の見直しに関する対応について

平成27年6月24日、第7回「消費者庁消費者委員会特定商取引法専門調査会」に、日本アドバタイゼーズ協会・日本インタラクティブ広告協会並びに当協会の代表が出席し、特定商取引法の見直しによる法制化の動きに意見陳述を行った。

訪問販売、通信販売、電話勧誘販売などの事業者と消費者の間の特定の取引を定めた特定商取引の「アポイントメントセールス」に関して、消費者保護の観点から、「アポイントメントセールス」の誘引方法に、新聞・雑誌・フリーペーパー等の「広告」を加え、規制をはかり法制化する動きに対して、慎重な議論を求めた。

- 日 時：平成27年6月24日（水）16時30分～18時
- 会 場：山王パークタワー 消費者委員会大会議室1
- 出席者：藤川 達夫（日本アドバタイゼーズ協会 専務理事）
勝野 正博（日本インタラクティブ広告協会 専務理事）
永江 禎（日本広告業協会 法務委員会委員長）
長谷川雅典（日本広告業協会 個人情報WG）

11月16日、消費者庁より「広告・報道関係8団体」に対して、特定商取引の「アポイントメントセールス」に関するヒアリング要望があり、当協会からは永江委員長・長谷川委員が出席、「電子広告・新聞広告・雑誌広告によって、1) 商品売買契約又は役務提供契約で勧誘をするためのものであることを告げずに行う特定の場所への来訪要請、2) 他の者に比して著しく有利な条件で契約を締結することができる旨を告げて行う特定の場所への来訪要請、が規制の対象になった場合、広告事業者側にどのような影響があるか」のヒアリングを受けた。

- 出席者：長田かおり（消費者庁 取引対策課課長補佐）
平林 明裕（消費者庁 取引対策課係長）他、経済産業省担当

その後、消費者庁のパブリックコメント募集に、特定商取引法の見直しとして、1) アポイントメントセールスにおける来訪要請手段に「SNS・電子広告」を追加し規制を及ぶべきとすること、2) 虚偽・誇大広告に関する取消権について検討の余地を示唆したこと、に対して、12月21日、当協会

を含む広告・報道関係8団体は、「特定商取引に関する法律の見直しに関する意見」として、内閣府消費者委員会事務局にパブリックコメントを提出した。

⑥消費者契約法の見直しに関する対応について

消費者契約法の改正案規程の中に、「勧誘」に「広告等」を含め、悪質業者への規制をかけるため、従来適法になされている広告活動に不要な規制をかける議論が「消費者委員会消費者契約法専門調査会」で行われていることを憂慮し、平成27年7月15日、内閣府消費者委員会事務局に対して、日本アドバタイザーズ協会・日本インタラクティブ広告協会並びに当協会による「消費者委員会消費者契約法専門調査会に関する意見書」を作成し、提出した。

また、7月22日、「広告・報道関係9団体連絡会」にて、消費者庁へ提出する第2の意見書案を検討し、7月24日、全日本広告連盟・日本アドバタイザーズ協会・日本インタラクティブ広告協会並びに当協会4団体による意見書、「消費者契約法の見直しに関する意見」を内閣府消費者委員会事務局に提出した。

意見書の主旨は、「論点『勧誘』要件のあり方に関連して、悪質な事業者とは明確に一線を画す多くの事業者による消費者への有益な情報伝達たる『正当な広告活動』についてまで、大きくかつ不当に制限をすることになりかねない規制内容が含まれていることに、強く反対する」というもの。

同意見書は、7月28日「第16回消費者契約法専門調査会」の参考資料となり、その後、同調査会は、8月中旬に「中間とりまとめ」を作成、9月17日に説明会を開催し、各関係事業社に対して、「中間とりまとめ」に関するパブリックコメントを募集した。これに対し、当協会を含む「広告・報道関係8団体」は、それぞれ、反対要望のパブリックコメントを内閣府消費者委員会事務局に対し9月28日までに提出した。

10月30日、「第20回消費者契約法専門調査会」が開催、全日本広告連盟・日本アドバタイザーズ協会・日本インタラクティブ広告協会並びに当協会の4団体代表幹事が出席し、広告・報道関係8団体の反対要望のパブリックコメントを説明、意見陳述を行った。

- 説明者：内田 公至（全日本広告連盟 筆頭執行理事）
- 藤川 達夫（日本アドバタイザーズ協会 専務理事）
- 勝野 正博（日本インタラクティブ広告協会 専務理事）
- 永江 禎（日本広告業協会 法務委員会委員長）
- 長谷川雅典（日本広告業協会 個人情報WG）

[消費者契約法の見直しに関する検討経緯]

7月15日「消費者委員会消費者契約法専門調査会に関する意見書」を提出。

7月22日「広告・報道関係9団体連絡会」にて協議。

構成：全日本広告連盟／日本アドバタイザーズ協会／日本新聞協会／日本民間放送連盟／
日本雑誌協会／日本雑誌広告協会／日本広告業協会／
日本屋外広告業団体連合会／日本インタラクティブ広告協会

7月24日「消費者契約法の見直しに関する意見」を提出。

8月27日「広告・報道関係9団体連絡会」にて「消費者契約法専門調査会 中間とりまとめ」に対する協議。

9月28日「消費者契約法専門調査会 中間とりまとめ」に対する反対要望のパブリックコメントを消費者委員会に提出。【日本広告業協会】

*パブリックコメントは、全日本広告連盟／日本アドバタイザーズ協会／日本新聞協会／日本民間放送連盟／日本雑誌協会／日本雑誌広告協会／日本広告業協会／日本インタラクティブ広告協会、8団体が提出。

10月 9日「全国広告関係団体連絡会議」（加盟広告業団体25団体）にて、消費者契約法に関わる情報共有。

10月30日「第20回消費者契約法専門調査会」にて意見陳述

⑦消費者庁「食品として販売に供する物に関して行う健康増進効果等に関する虚偽誇大広告等の禁止及び広告等適正化のための監視指導等に関する指針（ガイドライン）改正案」について

日本新聞協会より照会があり、標記ガイドライン案を検討し、「健康増進法第31条第1項規定の「適用対象者」に「新聞社、雑誌社、放送事業者等の広告媒体事業者等も対象となり得る」という例示に強く反対の意を表明するため、広告・報道関係8団体とともに、3月9日、パブリックコメントを提出した。

(3)「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」（リーダー：外山 善太）

①「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」会議の開催

■第13回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

7月2日、「オンライン運用時の制作扱い広告会社と媒体扱い広告会社の責任分界の方針」について意見交換を行い、次にビジネスモデル案を作成することとした。

■第14回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

8月5日、「オンライン運用時の制作扱い広告会社と媒体扱い広告会社の責任分界／運用フロー（案）と請求フロー（案）」について、意見交換を行い、業協統一案として、各6委員会にて諮ることとした。

平成26年9月に設置した「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」は、CM素材のオンライン運用について検討を進めた結果、制作扱い広告会社と媒体扱い広告会社によるこれまでのビジネスの商流を変えないこと、広告主に応分の負担を求めることを前提に、平成29年度内にテレビCMのオンライン運用の開始を目標とした運用モデル案を整理した。モデル案は、CM素材がオンライン運用時には手にとって見えないことから、素材の特定・一意性を保証するCM登録認証サービス（CMAS）を利用し、制作扱い広告会社と媒体扱い広告会社の責任領域を定めた運用フローとなっている。広告主への請求フローも従来通りであるが、オンライン運用のシステム利用料として、CMAS利用料・送稿サーバ接続料・搬入サーバ利用料等の考え方を提示している。

CM素材オンライン運用検討については、日本民間放送連盟・日本アド・コンテンツ制作社連盟・日本ポストプロダクション協会・日本アドバタイザーズ協会等各関係団体と加盟社、広告会社、オンライン事業者など多くのステークホルダーが関係し、課題も山積している中で、この度は、平成29年度内にテレビCMのオンライン運用の開始を目標とすることを業界に宣言し、運用モデル案を諮ることとした。

■第15回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

9月30日、9月11日の理事会で承認された「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」検討提案<中間報告>について情報共有後、「協調領域の事業主体・設定」「競争領域事業者の事業内容と費用」「協調領域事業をEDIセンターが行うこと及びCMASのカバー領域に関わるEDIセンターとの合意」「競争領域事業者の参入方法」などの課題について、検討した。

◇日本民間放送連盟への活動目標の申し入れ

9月28日、テレビ朝日にて、日本民間放送連盟に対して当協会から大森メディア委員会担当理事、高田メディア委員会委員長、桜井テレビ小委員会委員長、外山デジタル特別委員会委員長、村井専務理事が出席し、当協会のテレビCMのオンライン運用の取り組みとして、「平成29(2017)年度内にテレビCMのオンライン運用を開始することを目標として作業を進めていく」ことを説明し、意見交換を行った。

<日本民間放送連盟>

- 出席者：早河 洋(営業委員会委員長/テレビ朝日)
 亀山 慶二(業務対策小委員会委員長/テレビ朝日)
 塩野弥千夫(CM運行検討小委員会小委員長/日本テレビ放送網)
 茂木 達郎(CM運行検討ワーキンググループ主査/日本テレビ放送網)

■第16回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

12月15日、1) 日本民間放送連盟との進捗状況、2) 日本アド・コンテンツ制作社連盟との対応、3) オンライン事業社へのオリエン&その後の意向確認～動向について、4) 日本アドバイザーズ協会へのオンライン運用経過報告、5) システム検討ワーキンググループの活動について、情報共有した。

■第17回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」

平成28年3月1日、第17回同プロジェクト会議を開催、1月29日、当協会主催「テレビCMのオンライン運用の取り組み」説明会、2月23日、日本民間放送連盟主催「テレビCMオンライン運用に関する全社会議」の各報告と、協調領域事業者(広告EDIセンター)システム開発タスクフォース活動報告について、情報共有をした。説明会では、従来のワークフロー工程の省力化やオンライン過渡期の対応等説明があった。また、システム開発タスクフォースより、システム開発ベンダー候補社の選定を行い、3月3日の広告EDIセンター取締役会にて正式決定する旨の報告があった。

「システム開発タスクフォースメンバー」

- リーダー 奥村 卓也(電通)
- サブリーダー 川上 勲(博報堂DYホールディングス)
- メンバー 酒井 健(電通)
- 中川 享規(電通)
- 佐藤 昌良(博報堂DYホールディングス)
- 小出 泰実(アサツー ディ・ケイ)
- 向山 真人(ジェイアール東日本企画)

②「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」説明会の開催

以下の通り、開催した。

■東京開催

- 日 時：平成28年1月29日（木）13時30分～15時
 - 会 場：銀座キレイが丘・本館5階会議室
 - プログラム：1) テレビCMオンライン運用2017年度開始に向けて
CM運用モデル（プリントから配信へ）
CM素材オンライン運用検討プロジェクト
リーダー 外山 善太（デジタル特別委員会委員長／博報堂DYメディアパートナーズ）
サブリーダー 橋爪恒二郎（営業課題検討小委員会委員長／電通）
サブリーダー 沼澤 忍（制作取引小委員会委員長／電通）
- 2) 質疑応答

- 参加者：99名

■名古屋開催

- 日 時：平成28年3月9日（水）15時～16時30分
 - 会 場：電通中部支社・11階ホール
 - プログラム：1) 2017年度運用開始に向けたオンライン運用の仕組みと導入スケジュール（プリントからファイル送信へ）
CM素材オンライン運用検討プロジェクト
リーダー 外山 善太（デジタル特別委員会委員長／博報堂DYメディアパートナーズ）
サブリーダー 橋爪恒二郎（営業課題検討小委員会委員長／電通）
サブリーダー 沼澤 忍（制作取引小委員会委員長／電通）
- 2) 質疑応答

- 参加者：46名

■大阪開催

- 日 時：平成28年3月10日（木）10時～11時30分
- 会 場：電通関西支社・12階ホール
- プログラム：（名古屋開催と同プログラム）
- 参加者：86名

【6】特別委員会

【1】財務委員会（委員長：長沼孝一郎）

（1）委員の交替

島田 誠一（日本広告業協会）

→ 村井 知哉（同協会 専務理事）

（2）委員会の開催

同委員会を開催、以下の検討を行った。

◇平成27年4月15日

- 平成26年度決算報告について
- 平成27年度（補正）収支予算案について

◇平成28年2月24日

- 平成27年度収支決算見込みについて
- 平成28年度事務局人件費予算について
- 平成28年度収支予算案について

[2] 吉田秀雄記念賞選考委員会（委員長：内藤 好徳）

(1) 第50回吉田秀雄記念賞の贈賞

6月1日開催の平成27年度定時総会・記念式典において、内藤好徳委員長より選考経過報告が行われ、高嶋達佳理事長より贈賞を行った。

- ◇個人賞 成田 純治（博報堂 代表取締役会長）
- ◇グループ賞 該当なし

(2) 第51回吉田秀雄記念賞の選考

平成28年1月22日、同選考委員会を開催、第51回吉田秀雄記念賞に関し、推薦アンケートを参考に選考の結果、以下の通り受賞者を内定、第289回理事会承認を経て、5月31日開催の平成28年度定時総会・記念式典にて表彰することとした。

- ◇個人賞 長沼孝一郎（アサツー ディ・ケイ 最高顧問）
- ◇グループ賞 該当なし

[3] 役員選挙管理委員会（委員長：丹羽 信一）

4月15日、同委員会を開催、平成27年・28年度役員候補者選挙の開票を行った。

[7] 会員社動向

[1] 平成27年度会員登録による協会現勢（平成27年4月1日現在）

<前年>

◇会員社数	149社	155社
◇会員社所属員総数	35,059名	34,609名
◇会員社総売上高（平成26年暦年）	4兆4,310億円	4兆2,380億円

※売上高未回答会員社20社を除く

◇平成26年日本の広告費（6兆1,522億円）に対する割合	72.0%	70.9%
-------------------------------	-------	-------

[2] 会員社社名変更

◇平成27年4月1日付

株式会社 メディアポート成田

→ 株式会社 グリーンポート・エージェンシー

[3]入会

- ◇平成27年7月1日付
株式会社 伸和エージェンシー
- ◇平成27年11月1日付
株式会社 協同宣伝

[4]退会

- ◇平成27年10月6日付
ディーディービー・ジャパン株式会社
- ◇平成27年11月30日付
株式会社 東亜広告社
- ◇平成28年3月31日付
株式会社 互栄社
株式会社 セミック
GMO NIKKO株式会社

2

広告と広告業のPR

[1] PR委員会 (担当理事: 鐘ヶ江輝久 委員長: 西川淳一郎)

[1] 委員の交替

- 宮下 綾 (I&S BBDO)
 - 小田島 薫 (同社 イベント/プロモーショングループプランニングディレクター)
- 中田 孝胤 (東急エージェンシー)
 - 西村 大輔 (同社 ビジネス創造センター第1インテグレートッドソリューション・グループソーシャル&パブリックリレーション部部长)

[2]「広告の広告」によるPR活動

同委員会は、「広告」の理解促進活動として「広告の広告」を制作、日本新聞協会並びに日本雑誌協会・日本雑誌広告協会加盟社及び電通報の協力を得てPR活動を実施した。協会の広報に関しては、ホームページによるタイムリーな広報活動を円滑に行った。また、協会事業に関し記者発表や、ニュースリリースの送付等を効率的に行った。

(1) 平成27年度「広告の広告」

- 制作担当: 電通ヤング・アンド・ルビカム

■コピー：うれしい気持ち、ひろがるね。

サブコピー：広告は心のスイッチ。



掲載状況

- 新聞 = 日本新聞協会加盟新聞社に掲載を依頼
 期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
 スペース：半3段、半5段、全1段、突出
 掲載回数：3,711回 (75紙)
 金額換算：592,013,000円
- 雑誌 = 日本雑誌協会・日本雑誌広告協会各加盟出版社に掲載を依頼
 期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
 スペース：縦 1 / 3頁
 掲載回数：52回 (10誌)
 金額換算：11,807,000円
- 電通報 = 期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日
 スペース：全頁
 掲載回数：全頁2回
 金額換算：1,600,000円

(2) 平成28年度「広告の広告」

■制作担当：大広

■コピー：広告は星の数ほどあるけれど、運命の出会いはきっとある。



(3) 協会の広報活動

①記者発表会の開催

平成28年3月11日、第290回理事会終了後、「第45回懸賞論文入賞・入選者」及び「2015年クリエーター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者」の発表を行った。

<業界専門紙・誌対象>

日時：平成28年3月11日(金) 15時45分

会場：電通銀座ビル・8階・共用会議室

■「第45回懸賞論文入賞・入選者」発表

▶懸賞論文募集事業の意義について

村井 知哉(日本広告業協会 専務理事)

▶選考経過報告

委員長 喜早冬比古 (電通 デジタルマーケティング局センター次長)

▶受賞感想

金賞受賞者 日塔 史 (電通 イベント&スペース・デザイン局エクスペリエンス・テクノロジー部シニア・マネージャー)

■「2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者」発表

▶クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の意義・選考経過報告

担当理事 中田 安則 (読売広告社 代表取締役社長)

▶クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の意義・選考経過報告

委員長 尾形 嘉寿 (I&S BBDO 上席執行役員ECD)

▶受賞感想

2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー受賞者

篠原 誠 (電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター /CMプランナー)

<一般紙対象>

平成28年3月11日、ニュースリリースを通信社、新聞社に送付した。

[3]小委員会の活動

(1)「広告の機能と役割」研究小委員会 (委員長:西村 泉)

①委員の交替

戸川 正憲 (電通ヤング・アンド・ルビカム)

→ 長沢 朋哉 (同社 コミュニケーション・デザイン局ストラテジック・プランニング部部長)

藤居 誠 (東急エージェンシー)

→ 清水 徹 (同社 ソリューション本部マーケティング局担当局長)

津田 裕 (マクキャンエリクソン)

→ 松本 順 (同社 プランニング部プランニングディレクター)

②「広告の機能と役割」研究小委員会セミナー

消費者の情報収集活動と広告との関係を、情報に対するリテラシーを軸として、広告とメディア、購買行動への影響など研究した。

- 日 時：平成27年7月7日 (火) 14時～16時
- 会 場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 龍田の間
- テーマ：「広告の機能と役割を再考する～情報行動と広告～」
- プログラム：「調査概要について」

PR委員会「広告の機能と役割」研究小委員会 委員長

藤居 誠 (東急エージェンシー ビジネス創造センター第2インテグレートッドソリューション・グループストラテジー&データマネジメント部)

「広告の機能と役割を再考する～情報行動と広告～」

講 師：中野 香織 (駒澤大学 経営学部市場戦略学科准教授)

- 参加者：98名 (32社)

- 参加費：無料（会員外2,160円）

なお、研究報告書の付属資料は、7月7日、会員限定で当協会ホームページにて発表した。

③次期研究テーマと体制

平成27年度研究「広告の機能と役割を再考する～情報行動と広告～」のテーマの「市場の達人と広告の関係」をさらに掘り下げて、消費者の意思決定プロセスを探る研究をすることとし、企画・監修を駒沢大学の中野香織准教授に依頼した。

■委員長・副委員長の互選

- 委員長：西村 泉（大広）
- 副委員長：成田 聡（朝日広告社）

(2) ホームページ管理小委員会（委員長：西川淳一郎）

協会の事業を逐次情報発信を行った。

【2】会報編集委員会（担当理事：内藤 好徳 委員長：安斉 昇）

協会機関誌JAAALレポートは協会と会員社をつなぐパイプ役として、協会の行事や多岐にわたる事業活動を会員に報告するとともに、広告ビジネスに関する諸情報などを広く内外に伝える重要な役目を果たしている。

同委員会は広告業界の最新動向をレポートするとともに、協会活動に対する理解を深め、親しみのあるJAAALレポートを目指し編集方針・特集企画等を検討した。

【1】委員の交替

宮下 綾（I&S BBDO）

- 真栄田祐子（同社 リーガル&コンプライアンスマネジャー）
- 高澤 正行（同社 メディアグループコミュニケーションアクティベーションメディアディレクター）

殿村 良彦（アサツー ディ・ケイ）

- 雄鹿 郁夫（同社 社長室コーポレートコミュニケーション室）

【2】JAAALレポートの発行

(1) 発行規模

- ①形態：B5判 表紙共24ページ
- ②発行日：毎月1日
- ③部数：4,600部
- ④配布先：会員社、各地の広告業協会、関係団体、海外の広告業協会、広告学会・大学広告研究会、広告専門業界紙・誌、官公庁

(2) 基本企画

- ビジュアル・トピックス 表2
- ひと・こと 1P

● 特 集	2～9P
● Fresh Eye ～若手広告人Talkシリーズ	10P
● 広告人の書棚から	11P
● WORLDアドREPORT	12～13P
● 現代広告ビジネス用語の基礎知識	14P
● ～人と企業のリアル接点～ SHOWROOM&MUSEUM REPORTS	15P
● 広告関連法規シリーズ	16P
● 業界情報	17P
● 協会の活動レポート	18～19P
● INFORMATION	20～21P
● 今月のデータ&特集インデックス	表4

*平成27年度表紙デザイン/アサツー ディ・ケイ

(3) 特集企画

<平成27年>

- 4月号 「第二回広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞
—Innovative Communication Award— (ICA) 審査結果発表」
- 5月号 「『笑い』×『広告』—第72回JAAAクリエイティブ研究会—
「字幕付きCMの取り組みについて」
- 6月号 「広告会社の人材育成」
- 7月号 「平成二十七年度定時総会報告」
- 8月号 「あの日、あの時、広告はいつも熱かった。
～戦後70年/時代と歩む広告の進化と変貌～」
- 9月号 「外国人観光客をゲットせよ!日本全国インバウンド誘致合戦の舞台裏」
- 10月号 「広告賞は、現実を映し出す『鏡』。広告界が激変すれば、賞だって変わる。」
- 11月号 「広告コミュニケーションとコンテンツマーケティング～いま何が起きているのか これから何が起きるのか」
- 12月号 「今求められる、広告デザインの流儀」

<平成28年>

- 1月号 「会長・理事長・副理事長『新春随想』」
- 2月号 「映像配信ビジネスの今を探る」
- 3月号 「ヘルスケアプロモーション すべての企業・自治体が、ヘルスケアビジネスする時代!」

3

教育と研究

【1】教育セミナー委員会 (担当理事: 桑原 常泰 委員長: 松浦 啓子)

[1] 委員の交替等

(1) 委員の交替

野出 朋子 (I&S BBDO)

→ 愛甲 知己 (同社 コーポレートセンターヒューマンリソースグループディレクター)

出口 裕之 (ジェイアール東日本企画)

→ 富川 隆 (同社 総務局次長兼人事部長)

山口 晶子 (読売広告社)

→ 高木 康志 (同社 人事局局長代理)

(2) 個人情報保護ワーキンググループメンバーの交替

川上 正隆 (電通)

→ 長谷川雅典 (同社 法務マネジメント局法務部専任部長)

齋藤 佳三 (電通)

→ 清田 雅裕 (同社 ビジネス統括局専任部長)

→ 安斎 真 (同社 ビジネス統括局リスクマネジメント部部长)

■リーダーの交替

川上 正隆 (電通) → 小笠原宏通 (博報堂)

[2] 第43回新入社員教育セミナー

2クラス編成で、以下の通り開催した。

- 日程: 平成27年4月7日 (火) ~ 10日 (金) ・4日間とも9時30分~17時
- 会場: 機械振興会館・研修室・会議室
- 参加者: 159名34社 (前回146名34社)
- カリキュラム及び講師

<4月7日>

■開講のあいさつ

桑原 常泰 担当理事 (東急エージェンシー 代表取締役社長)

■日本広告業協会について

島田 誠一 (日本広告業協会 専務理事)

■受講上の注意

小田 崇介 (日本広告業協会 事務局副参事)

■基調講義

中馬 淳 (博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ 人材開発戦略室室長)

■営業

林 義和 (大広 第2ビジネスユニット第1営業局長)

■コミュニケーションプランニング

加藤 晃 (三晃社 営業開発局マーケティングリサーチ部部长)

■クリエイティブ

清水 健 (アサツー ディ・ケイ 統合ソリューションセンター ECD)

<4月8日>

■メディアプランニング

横野 芳弥 (電通 MCプランニング局メディア・ソリューション室プランニング部)

■新聞

木村 和弘 (日本経済社 新聞雑誌局新聞第2部)

■雑誌

春田 直哉 (I&S BBDO メディアユニット統合メディアバイイング新聞・雑誌・OOHチーム)

■テレビ

井田晋太郎 (マクキャンエリクソン 媒体本部媒体局1部部长)

■ラジオ

斉藤 洋貴 (電通 ラジオテレビ局ラジオ業務部)

<4月9日>

■インタラクティブメディア

加藤 勇樹 (東急エージェンシー インタラクティブソリューション局iメディア販売促進部スーパーバイザー)

■プロモーション

加覧 丈士 (ジェイアール東日本企画 プロモーション局プロモーション第2部担当部長)

■OOH

飯沼 友康 (オリコム メディア本部OOHメディア局ディレクター)

■広告関連法規

手塚 真司 (読売広告社 総務局コーポレート部)

<4月10日>

■グループディスカッション

インストラクター

野出 朋子 (I&S BBDO コーポレートセンターヒューマンリソースHRディベロップメントスペシャリスト)

金澤 直也 (アサツー ディ・ケイ 人材開発本部専任局長)

松浦 啓子 (オリコム 経営企画局ヒューマンリソースシニアディレクター)

雑賀 啓介 (三晃社 経営管理局総務人事部部長)

出口 裕之 (ジェイアール東日本企画 総務局人事部長兼人材開発部長)

三栗谷信明 (大広 人事局人材開発室室長)

増子 裕介 (電通 人事局育成1部部长)

澤田 桐智 (東急エージェンシー コーポレート本部人事局人事労務厚生部部长)

門田 昌晃 (日本経済社 総務局人事部部長)

中馬 淳 (博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ 人材開発戦略室室長)

小岩井由紀子 (マクキャンエリクソン タレントマネジメント本部マネージャー)

高木 康志 (読売広告社 人事局局長代理)

- 教科書として「広告ビジネス入門」第20版を使用

[3]第21回フォローアップセミナー

4月開催の新入社員教育セミナーの受講者を対象として、以下の通り開催した。

- 日程：平成27年11月10日(火)～11日(水) 9時30分～17時

- 会場：機械振興会館 地下2F 研修室
- 研修テーマ：こんな便利な世の中だからこそ、一次情報から広告を創ろう
- 研修スタイル：講義、グループワーク
- 講師：向原 一平（東急エージェンシー ビジネス創造センター 東急プロジェクトプロデュース・グループ企画開発部部长/渋谷新聞編集長）
- 参加者：64名（12社）〔前回64名（14社）〕

[4]第29回「広告と人権」セミナー

以下の通り開催した。

- 日時：平成27年12月10日（木）14時～16時
- 会場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル・龍田の間
- テーマ：パラスポーツと「切斷ヴィーナス」
- プログラム：「パラスポーツについて」
越智 貴雄（写真家／一般社団法人カンパラプレス 代表理事）
「陸上選手になるきっかけから現在の活動」
村上 清加（陸上短距離、走り幅跳び選手／ヘルスエンジェルス、長谷川体育施設所属）
- 参加者：69名（24社）

なお、「なくそう部落差別調査」大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例のパンフレットを参加者に配布した。

[5]個人情報保護セミナー

以下の通り開催した。

- 日時：平成28年3月3日（木）14時～16時50分
- 会場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- プログラム：「個人情報保護法の基礎知識」
寺林 憲宏（大広 総務局法務部プランニングディレクター）
「個人情報取扱業務の進め方」
小笠原宏通（博報堂 MD統括局リスクコンサルティング部マネジメントプランニングディレクター）
「個人情報保護法の改正について」
川上 正隆（青山学院大学 大学院法学研究科客員教授）
- 参加者：12名（10社）〔前回17名（16社）〕

[6]小委員会の活動

(1)「広告ビジネス入門」発行小委員会（委員長：中馬 淳）

第21版は、国際広告・SNSの現状を各章にて紹介し、索引を作成、章立てを以下の形にした。

■第21版「広告ビジネス入門」の発行

◇小委員会体制

- 委員長 中馬 淳 (博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ 人材開発戦略室室長)
- 委員 野出 朋子 (I&S BBDO コーポレートセンターヒューマンリソースHRディベロップメントスペシャリスト)
- 渋谷 浩幸 (アサツー ディ・ケイ コーポレートセンター)
- 林 秀一 (電通 第17営業局アカウント・プロデュース2部スーパーバイザー)
- 澤田 桐智 (東急エージェンシー コーポレート本部人事局人事労務厚生部部長)

◇第21版・章立て

- 1章 広告市場と広告会社の現状・歴史・将来
 - 2章 広告会社の役割と活動
 - 3章 広告計画の作成と実施
 - 4章 メディア関連の実務
 - 5章 広告とCSR
 - 6章 広告賞及び広告関係団体
- 発行日：平成28年3月15日 (火)
 - 版 形：A4判 222ページ
 - 部 数：4,000部

[7] 講師派遣

各協会の依頼により下記の通り講師を派遣した。

◇福井県広告業協会・会員研修セミナー

- 日 時：平成27年10月29日 (木) 12時～14時
- 会 場：福井放送ホール (福井市大和田)
- テーマ：強いクリエイティブと弱い地方クリエイティブの差はなんだろうか？
- 講 師：上野 達生 (BBDO J WEST コンテンツ開発局クリエイティブディレクター/CMプランナー)
- 参加者：71名

[2] 懸賞論文委員会 (担当理事：丹羽 信一 委員長：喜早冬比古)

[1] 委員の交替

- 板川 昌弘 (I&S BBDO)
- 若月 健 (同社 プランニンググループストラテジックプランニングSTPチームプランニングディレクター)
- 梅津 充幸 (ジェイアール東日本企画)
- 加藤 肇 (同社 駅消費研究センターセンター長)
- 成澤 弘之 (読売エージェンシー)
- 戸村 康則 (同社 コミュニケーションネットワーク局プランニング部副部長)

[2] 第44回懸賞論文募集について

(1) 表彰式

- 日 時：平成27年6月1日(月) 14時25分(平成27年度定時総会・記念式典)
- 会 場：パレスホテル東京・2階・葵

*丹羽担当理事より審査経過報告、高嶋理事長より表彰状授与

(2) 入賞・入選

◇「論文」<課題： 広告ビジネスの挑戦>

金賞 1編(1名) 銀賞 1編(1名)

銅賞 1編(2名 共同執筆)

◇「私の言いたいこと」

<一般部門>第1～7テーマのいずれか選択

入選

第1テーマ 1編(1名) 第2テーマ 1編(1名)

第3テーマ 2編(2名) 第4テーマ 1編(1名)

第5テーマ 1編(1名) 第6テーマ 該当なし

第7テーマ 1編(1名)

<新人部門>テーマ:自由

入選 3編(3名)

(3) 入賞・入選作品集の発行(JAAALレポート臨時増刊号No.707)

- 発行日：平成27年6月1日(月)
 - 版 形：B5判 109ページ
 - 部 数：6,000部
 - 配布先：会員社、各地広告業協会、応募者、広告主、媒体社、関係団体、広告学会など
- *入賞・入選作品を協会ホームページにも掲載

[3] 第45回懸賞論文募集について

(1) 募集活動

平成27年6月1日、JAAALレポート6月号並びに協会ホームページに応募要項を公表し、ポスター・チラシを会員社に送付し募集を開始した。応募者は、協会ホームページよりエントリーを行い、作品を添付する応募作品のWebエントリーを実施、9月30日に締め切った。

◇ポスター制作担当:電通

(2) 課題・テーマ

■『論文』 課題：広告が動く、動かす

■『私の言いたいこと』

<一般部門>(第1～7テーマのいずれかを選択)

第1テーマ/営業、アカウントマネジメント

第2テーマ/メディア、メディアプランニング・開発

第3テーマ/戦略プランニング、プロモーション、PR

第4テーマ/クリエイティブ

第5テーマ/テクノロジー、プラットフォーム(事業開発)

第6テーマ/管理(総務、人事、教育、経理、システム、法務、広報、経営管理等)

第7テーマ/その他(第1～6テーマにあたらぬもの)

<新人部門>(業界歴2年以内かつ応募時26歳まで)

テーマ/自由

■締め切り:平成27年9月30日(水) 17時まで

(3) 「第45回懸賞論文」エントリー説明会の開催

懸賞論文の応募対象者に向けて、応募促進のために説明会を以下の通り開催した。

- 日 時:平成27年7月2日(木) 14時～15時30分
- 会 場:電通銀座ビル・8階・共用会議室
- テーマ:「第45回懸賞論文」エントリーについて
- 講 師:佐々木弘人(日本プロモーション・マーケティング協会)
- 参加費:無料
- 参加者:74名(18社)

(4) 応募数

		第45回		第44回	
■応募総数		612編	(23社)	541編	(25社)
■内訳	論文	83編	(9社)	81編	(5社)
	私の言いたいこと	529編	(23社)	460編	(25社)
	<一般部門>	252編	(14社)	181編	(18社)
	第1テーマ	57編	(7社)	47編	(9社)
	第2テーマ	38編	(6社)	17編	(6社)
	第3テーマ	30編	(4社)	31編	(7社)
	第4テーマ	26編	(9社)	20編	(6社)
	第5テーマ	13編	(6社)	5編	(2社)
	第6テーマ	24編	(5社)	17編	(8社)
	第7テーマ	64編	(7社)	44編	(12社)
<新人部門>自由課題	277編	(22社)	279編	(20社)	

第45回の応募は、応募者が協会ホームページよりWebエントリーを行った。

(5) 審査

■審査スケジュール

<平成27年>

10月16日「私の言いたいこと」(新人部門) …第一次審査開始…

11月17日 〃 第1回グループ審査会(Cグループ、Bグループ)

18日 〃 第1回グループ審査会(Aグループ、Dグループ)

「論文」「私の言いたいこと」（一般部門）…第一次審査開始…

<平成28年>

1月 7日	〃	第2回グループ審査会 (Dグループ、Cグループ)
8日	〃	第2回グループ審査会 (Bグループ、Aグループ)
15日	第二次審査開始	
2月 25日	最終合宿審査会 (電通鎌倉研修所)	
26日	〃	
3月 11日	第290回理事会にて承認後、記者発表	
5月 31日	平成28年度定時総会・記念式典にて表彰 並びにJAAAレポート臨時増刊号「第45回懸賞論文入賞・入選作品集」発行	

■ 審査方法

評価基準は、「テーマ性」「独自性」「具体性」「表現力」等とし、第一次審査は審査員をA・B・C・Dの4グループに分けてそれぞれ審査を行い、第1回及び第2回グループ審査会にて第一次審査通過作品を選出する。

第二次審査は、第一次審査通過作品を全審査員で点数評価を行い、最終合宿審査会にて、合計得点と議論を行い、入賞・入選作品を選出する。

(6) 入賞・入選

①「論文」の部<課題:広告が動く、動かす>

☆金 賞

日塔 史 (電通 イベント&スペース・デザイン局エクスペリエンス・テクノロジー部シニア・マネージャー)
「AI革命の『大分岐』で広告業界が動く～人を動かす次世代エージェント」

☆銀 賞

伊藤 耕太 (博報堂 第二プランニング局ストラテジックプランニング三部ストラテジックプランニングディレクター)
「“妄想力”の冒険——北斎、ビッグデータ、そしてワイルドアイデアへ」

☆銅 賞

菅 順史 (博報堂 生活総合研究所生活発見グループ研究員)
「『興味の壁』を越えさせる広告へ
～『情報の個別最適化』社会だから求められる『振り向かせる』技術～」

②「私の言いたいこと」

☆入 選

<一般部門 (第1～7テーマのいずれかを選択) >

● 第1テーマ 営業、アカウントマネジメント

森永 洋介 (電通 デジタルマーケティングセンター B2Bマーケティング部シニア・プランニング・マネージャー)
「デジタルマーケティングで、新たなる成長軌道を描く」

● 第2テーマ メディア、メディアプランニング・開発

池田 大介 (電通 デジタルマーケティングセンターパフォーマンスマーケティング1部チーフ・マーケティング・プランナー)

「次世代メディアプランナーに求められるスキルとは？」

- 第3テーマ 戦略プランニング、プロモーション、PR

重田 康宏(アサツー ディ・ケイ 第2アクティベーションプランニング本部第4アクティベーションプランニング局
プランナー)

「『問う広告』 -コミュニケーション最適化時代の広告のあり方-」

- 第4テーマ クリエイティブ

坂口健一郎(電通 第2CRプランニング局クリエイティブ・ディレクター)

「クリエイティブ・ディレクターはいま、クリエイティブ・ファシリテーターへ」

- 第5テーマ テクノロジー、プラットフォーム(事業開発)

中西 知行(フロンテッジ ソリューション本部ソリューションマネジメントチームマネージャー)

「AI(人工知能)によるレコメンデーションが広告の最終形か？」

- 第6テーマ 管理(総務、人事、教育、経理、システム、法務、広報、経営管理等)

中本 実万(電通 第9営業局局長補)

「自立したソリューションの担い手を育てる。『セルフマネジメント』発想の勧め」

- 第7テーマ その他(第1～6テーマにあたらぬもの)

[共同執筆]

伊東 美穂(電通 マーケティングソリューション局第2マーケティングディレクション室部長CSR/CSVコンサル
ティング・ディレクター)

大内 櫻子(電通 マーケティングソリューション局第2マーケティングディレクション室チーフCSR/CSVコンサル
タント)

梅津 弓子(電通 マーケティングソリューション局第1マーケティングディレクション室チーフCSR/CSVコンサル
タント)

杉之尾剛生(電通 マーケティングソリューション局チーフCSR/CSVコンサルタント)

「“パーパス”～企業の『高次の目的』～を形にするパートナーへ」

<新人部門 テーマ：自由>

荒川 拓(電通 デジタルマーケティングセンターデータマネジメント部アナリスト)

「デジタルマーケティングにおける“最適化”の未来」

明石 美瑛(フロンテッジ 営業本部メディア・コンテンツ部門メディアプロデュースグループインタラクティブ・メ
ディアチーム)

「オーバー・ターゲティングの罫 ～ブランドへの信頼なきターゲティング広告の限界～」

佐々木 駿(電通 デジタルマーケティングセンタープロセスイノベーション部マーケティング・プランナー)

「新たな繋がり方との向き合い方～若者のリアルイベント消費による繋がり再構築～」

[3] 海外交流委員会 (担当理事：成田 純治 委員長：杉本 一夫)

[1] 委員の交替

勝村 良一(アサツー ディ・ケイ)

- 橋本 隆一 (同社 ADKグローバルシニアアカウントディレクター)
- 宮内 祥男 (電通)
- 馬場 章正 (同社 グローバル・ビジネス・センター長)
- 熊澤 春陽 (日本経済社)
- 小泉 喜由 (同社 取締役コミュニケーション・メディア・日本経済社クリエイティブセンター担当営業担当補佐)

[2] 第42回海外広告研修団の派遣

(1) 第42回海外広告研修団 (アメリカ)

- ◇ 研修地：アメリカ・ニューヨーク
- ◇ 日程：平成27年9月27日 (日) ～ 10月5日 (月) 9日間
- ◇ 研修テーマ：「コンテンツ新時代、2020年の広告会社の姿を探る。」
…「第12回アドバタイジングウィークNY」参加と、4社の企業研修…

★研修ポイント

- クライアントから求められるKPIの変化
- 先進広告会社の経営KPIは何か?
- ビッグデータとコンテンツアイデア
- 広告会社の競合はどこか?
- 収益の源泉

- ◇ 研修：第12回アドバタイジングウィークに参加
企業研修=アメリカ広告業協会、R / GA (広告会社)、Psyop (制作会社)、Cramer
— Krasselt (広告会社)

※第12回アドバタイジングウィーク

会 期：平成27年9月28日 (月) ～ 10月2日 (金) <5日間>

- ◇ スケジュール：8月 5日 第1回事前研修会 (顔合わせ会)
- 9月15日 第2回事前研修会
- 9月27日～ 10月5日 研修団ツアー実施
- 10月29日 帰国報告会

- ◇ 団員構成：18名 (14社+事務局1名)
- 団 長：大政 剛 (大広 大阪ビジネスユニット統合プロモーション局局长)
- 副団長：鷹觜 愛郎 (博報堂 iディレクション局クリエイティブディレクター)
- 事務局：木村 敏文 (協会 参事)

(2) 事前研修会の実施

- ① 第1回事前研修会 (8月5日)
「海外広告研修のご参加にむけて」
講 師：和波 弘樹 (第41回海外広告研修団団長/博報堂 広報室マネジメントプランニングディレクター)
- ② 第2回事前研修会 (9月15日)

「アドバタイジングウィークin NYの価値と参加のポイント…米国広告事情を交えて…」

講師：笠松 良彦 (イグナイト 代表取締役)

[3]「スパイクスアジア2015」研修ツアーの派遣

(1)「スパイクスアジア2015」研修ツアー

◇研修地：シンガポール

◇日程：平成27年9月7日(月)～9月12日(土) 6日間

◇研修テーマ：「アジアから感じるクリエイティブ」

…「スパイクスアジア2015」参加と企業研修…

★研修ポイント

—アジア独自のクリエイティビティのありかを探る

—国民性を意識する表現と、国籍に関係ない表現

—日本の広告会社だから出来ることを探る

◇研修：スパイクスアジア2015に参加

企業研修 = We are Social (広告会社)、POSSIBLE (広告会社)、BBH Singapore (広告会社)

※スパイクスアジア2015

会期：平成27年9月9日(水)～11日(金) <3日間>

会場：サンテックシティ国際会議場

◇団員構成：18名(9社+事務局1名)

リーダー：水谷 謙一 (読売広告社 営業戦略推進局メディアプランニング部長)

事務局：小田 崇介 (協会 副参事)

(2) 事前研修会の実施

①第1回事前研修会(8月28日)

「スパイクスアジアから世界を俯瞰する—フェスティバル300%活用法」

講師：中山 幸雄 (電通 電通イージス・ネットワーク事業局クリエイティブ・アドバイザー)

[4] 海外広告研修団帰国報告会

(スパイクスアジア2015 / 第42回海外広告研修団)

以下の通り開催し、両研修団の団員よりそれぞれの研修報告を受けた。

◇日時：平成27年10月29日(木) 15時30分～17時40分

◇会場：電通銀座ビル・8階・共用会議室

◇プログラム：1) スパイクスアジア2015研修ツアー報告

—企業研修3社とスパイクスアジア2015について

◇企業研修 = We are Social、POSSIBLE、BBH Singapore

2) 第42回海外広告研修団報告

—企業研修4社とアドバタイジングウィークについて

◇企業研修 = アメリカ広告業協会、R / GA、Psyop、Cramer-Krasselt

*なお、研修報告は、スパイクスアジア2015はJAAAホームページに11月に発表し、第42回海外広告研修団はJAAAレポート11月臨時増刊号 (No.715) にて報告。

[5] アジア広告業協会連盟

(CAAAA=The Confederation of Asian Advertising Agency Associations)

(1) シンガポール理事会報告

当協会から、俣木会長、村井専務理事、杉本海外交流委員会委員長 (日本経済広告社)、他合計9名が参加した。

- 日 時：平成27年9月8日 (火) 14時10分～17時55分
- 会 場：シンガポール「パン・パシフィック・シンガポール・ホテル」
- 参加団体：6団体18名
インドネシア、日本、インド、マレーシア、中華台北、シンガポール
- 議 事：▶前回理事会の議事録承認について
▶会計状況報告について
▶会員状況報告について
▶CAAAAホームページについて
▶収益について
 スパイクスアジア2015
 アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード2015
▶広告業界が直面する課題について
▶次回理事会開催 (時期・場所) について

本理事会では、CAAAAの認知度アップ・ブランディングアップの必要性が検討され、インドネシア・日本・マレーシア・中華台北がタスクフォースチームとして選出された。

(2) 「アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード」

①2015受賞発表会

4月10日、アジア広告業協会連盟主催「APACエフィー・アワード2015」の受賞式にて、日本からは下記の受賞があった。

☆金賞 博報堂 青森県田舎館村「Rice Code」

☆銀賞 博報堂 オークローンマーケティング (ショップジャパン)

「Wonder Core」

JWTジャパン ネスレ日本/キットカット「切符カット」

☆銅賞 電通 葵鐘会「MOTHER BOOK : The World's Firstever」

②「APACエフィー・アワード2015」受賞報告会

- 日 時：平成27年7月8日 (水) 15時～17時
- 会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- プログラム：「開会挨拶」

杉本 一夫 (海外交流委員会委員長／日本経済広告社 国際・ソリューション本部担当執行役員)

「APACエフィー・アワードの価値」

武田 隆 (APACエフィー・アワード コミッティメンバー／グーグル ジャパン 営業本部長
ブランドソリューション担当)

「APACエフィー・アワード2015受賞者報告」

須田 和博 (博報堂 iディレクション局シニアクリエイティブディレクター)

「2015年の審査について」

山口 千秋 (APACエフィー・アワード2015審査員／電通 マーケティングソリューション局次
長シニアプランニングディレクター)

- 参加者：44名 (13社)

③「APACエフィー・アワード2016」エントリー説明会

- 日 時：平成27年10月29日 (木) 13時～14時30分
- 会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 内 容：「アジア太平洋 (APAC) エフィー・アワード2016」エントリーについて
- プログラム：1) 「効果的なマーケティングのために」

ニール・デイヴィス (エフィーワールドワイド 社長兼CEO)

2) 「ケース・スタディー」

武田 隆 (グーグル ジャパン 営業本部長ブランドソリューション担当)

※APACエフィー・アワードコミッティメンバー

3) 「審査について」

小山 聡介 (ビーコン コミュニケーションズ／レオ・バーネット東京エグゼクティブ・プラン
ニング・ディレクター)

※APACエフィー・アワード2015審査員

4) 「受賞に向けたエントリーについて」

チュア・ビー・ホン (テナジア社 エグゼクティブ・ディレクター)

※APACエフィー・アワード事務局長

5) 「Positive Changeエフィー・アワードについて」

ニール・デイヴィス (前掲)

- 参加者：31名 (12社)

[6] 中国大学関係者に対する研修協力について

電通からの依頼により、「中国広告人材育成基金プロジェクト」の一環として来日中の中国各大学の教員を対象に、協会の活動や日本の広告業界の現状について説明した。

- 日 時：平成28年3月1日 (火) 10時30分～12時
- 会 場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 訪問者：6名 (西北大学、厦門大学、上海大学、湖南師範大学、廣西大学、東北師範大学)

[7] アドバタイジングウィーク・アジア（東京）の開催について

平成28年5月開催「アドバタイジングウィーク・アジア（東京開催）」について、動員協力を行うこととした。なお、当協会は後援名義の協力を実施。

＜アドバタイジングウィーク・アジア＞

- 日 程：平成28年5月30日（月）～6月2日（木）
- 場 所：東京・六本木エリア
- 主 催：Stillwell Partners Inc.、日本事務局 イグナイト

[4] クリエイティブ委員会（担当理事：中田 安則 委員長：尾形 嘉寿）

[1] 委員の交替等

■ 交替

早乙女 治（アサツー デイ・ケイ）

→ 清水 健（同社 統合ソリューションセンター ECD）

田中 俊哉（朝日広告社）

→ 橋本 和人（同社 統合マーケティングコミュニケーション本部クリエイティブソリューション局局长）

中島 達久（グレイワールドワイド）

→ 尾形 靖（同社 VP. ECD）

松良 宗夫（三晃社）

→ 長谷川 聡（同社 取締役）

■ 委員長の互選

- 尾形 嘉寿（I&S BBDO）

[2] クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞

(1) 2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

① 表彰式

- 日 時：平成27年6月1日（月）14時25分（平成27年度定時総会・記念式典）

- 会 場：パレスホテル東京・2階・葵

*中田担当理事より審査経過報告、高嶋理事長より表彰盾授与

◇2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー 1名

菅野 薫（電通）

◇2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト 6名

大八木 翼（SIX / 博報堂）

岡野 草平（電通）

熊谷 正晴（TBWA \ HAKUHODO）

上野 達生（BBDO J WEST）

砥川 直大(アサツー ディ・ケイ)

本多 正樹(BBDO JAPAN (I&S BBDO))

◇クリエイター・オブ・ザ・イヤー・ノミネート 30名(22社)

②「2014年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集」の発行(JAAAレポート臨時増刊号No.708)

- 発行日：平成27年6月1日(月)
- 版 形：B5判 35ページ
- 部 数：8,000部
- 配布先：会員社、各地広告業協会、応募者、広告主、媒体社、関係団体、広告学会、各クリエイティブ研究会で配布など

(2) 2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

①募集活動

平成27年12月1日より、ポスター、エントリーキット一式を会員全社に送付して募集を開始、同日発行のJAAAレポート12月号(No.716)においても告知を行い、平成28年1月30日に締め切った。

▶募集ポスター、パンフレットの制作：電通

②応募総数：37名(24社)

③審査及び発表

平成28年2月22日、審査会を開催、受賞者を内定、3月11日開催の第290回理事会承認後、発表した。

④2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

篠原 誠(電通 第3CRプランニング局クリエイティブディレクター/CMプランナー)

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト

村田 俊平(電通九州 クリエーティブディレクション局 CMプランナー)

今永 政雄(電通九州 クリエーティブディレクション局2部クリエイティブディレクター)

漆谷 浩(TBWA\HAKUHODO Disruption Lab・Group Creative Director)

都築 徹(電通 中部支社 顧客ビジネス局クリエイティブディレクター)

久富 和寿(西広 CS西広 CDセンタークリエイティブディレクター/コピーライター/CMプランナー)

近山 知史(TBWA\HAKUHODO Disruption Lab・Creative Director)

須之内元也(博報堂DYメディアパートナーズ CONCREATコミュニケーションデザインプランナー)

橋田 和明(博報堂/博報堂ケトル クリエイティブディレクター)

◇2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・ノミネート 37名(24社)

[3] クリエイティブ研究会の開催<企画担当兼コーディネーター：尾形嘉寿委員長>

(1) 当協会主催

①第73回JAAAクリエイティブ研究会(東京開催)

- 日 時：平成27年7月14日(火) 13時～15時30分
- 会 場：ヤクルトホール

- テーマ：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者講演
「共感と共有がもたらす、クリエイティブ革命。」
- 講師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
菅野 薫(電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
熊谷 正晴(TBWA\HAKUHODO)
本多 正樹(BBDO JAPAN (I&S BBDO))
- コーディネーター：尾形 嘉寿(クリエイティブ委員長／I&S BBDO)
- 参加者：417名

②第74回JAAAクリエイティブ研究会(東京開催)

- 日時：平成28年3月7日(月) 13時～15時
- 会場：ヤクルトホール
- テーマ：「クリエイティブ未来予想図～テクノロジーの進化が変えるもの／変えないもの」
- 講師：佐々木 康晴(電通 CDC専任局長ECDデジタル・クリエイティブセンター長)
野添 剛士(SIX 代表取締役社長／クリエイティブディレクター)
- コーディネーター：尾形 嘉寿(クリエイティブ委員長／I&S BBDO)
- 参加者：320名

(2) 各地広告業協会と共催

各地とも以下のテーマとコーディネーターで開催。

- テーマ：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞受賞者講演
「共感と共有がもたらす、クリエイティブ革命。」
- コーディネーター：尾形 嘉寿(クリエイティブ委員長／I&S BBDO)

①【名古屋開催】第57回名広協クリエイティブ研究会

- 共催：名古屋広告業協会、愛知広告協会
- 日時：平成27年7月17日(金) 14時～16時15分
- 会場：栄ガスホール(名古屋市中区)
- 講師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
菅野 薫(電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
大八木 翼(SIX／博報堂)
岡野 草平(電通)
- 参加者：97名

②【札幌開催】第33回HAAAクリエイティブ研究会

- 共催：北海道広告業協会
- 日時：平成27年9月25日(金) 14時～16時30分
- 会場：札幌東急REIホテル(札幌市)
- 講師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー

菅野 薫 (電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
上野 達生 (BBDO J WEST)
砥川 直大 (アサツー ディ・ケイ)

- 参加者:154名

③【浜松】 第13回SAAAクリエイティブ研究会

- 日 時：平成27年10月16日（金） 13時30分～ 16時15分
- 会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター（浜松市中区）
- 講 師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
菅野 薫 (電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
岡野 草平 (電通)
本多 正樹 (BBDO JAPAN (I&S BBDO))

- 参加者：361名

④【福岡】 第33回JAAAクリエイティブ研究会・福岡

- 日 時：平成27年11月6日（金） 18時～ 20時25分
- 会 場：都久志会館（福岡市中央区）
- 講 師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
菅野 薫 (電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
大八木 翼 (SIX / 博報堂)
砥川 直大 (アサツー ディ・ケイ)

- 参加者：315名

⑤【京都】 京都クリエイティブ・トーク2015（第25回）

- 日 時：平成27年11月20日（金） 18時～ 20時
- 会 場：京都商工会議所（京都市中京区）
- 講 師：2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー
菅野 薫 (電通)
2014年クリエイター・オブ・ザ・イヤー・メダリスト
熊谷 正晴 (TBWA \ HAKUHODO)
上野 達生 (BBDO J WEST)

- 参加者：100名

[4]小委員会の活動

(1) 賞実行小委員会 (委員長:田中 昌宏)

①クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞の運営

2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞に関し、賞の告知・PRや審査会の運営面での「推薦・

応募書類」の確認、応募要項の検討等、賞の選考を円滑にするための活動を行った。

◇以下の制作物は電通が担当

- 募集ポスター、応募キット等
- パンフレット「推薦・応募のご案内」
- JAAAレポート臨時増刊号「2015年クリエイターズ・オブ・ザ・イヤー特集」(5月31日発行予定)

(2) 著作権小委員会 (委員長:小竹 伸幸)

①日本音楽著作権協会 (JASRAC) 報告

■外国曲訳詞利用上の留意点について

著作権協会国際連合 (CISAC) の分配に関する取扱い変更決議に併せて、平成27年度よりCM放送利用の外国曲の原詞と訳詞の素材数を分けて計上する利用の手続き変更について、JASRACより説明を受けた。

■約款の変更について

平成28年4月1日より、出版・オーディオ録音等CM送信用録音の許諾に含まれない広告目的の複製全般等の使用料規程の一部を、規定額から委託者の指定する額 (指値) に変更する旨、説明を受けた。

②「広告クレーム検討プロジェクト (仮称)」リーフレットについて

ネット上の匿名発言の横行や拡散により、番組CMの出稿・掲出の停止・内容修正等社会問題化している「広告におけるクレーム問題」について、リーフレット「CM表現クレーム◎11の対応原則 一般消費者からの表現クレーム対応」を作成し、会員社並びに業界団体へ、周知のための説明会を開催した。

なお、リーフレットの活用については、以下の通り、案内した。

「CM表現クレーム◎11の対応原則 一般視聴者からの表現クレーム対応」

定価 (1部税込) 会員30円/一般 110円

*但し原則として100部単位にて販売。

③日本アドバイザーズ協会「著作権セミナー」講師派遣依頼について

標記セミナーについて、5回の講師派遣の協力を行った。

「広告取引委員会セミナー～これだけはおさえない! 広告関連法規セミナー」

- 会 場：日本アドバイザーズ協会 会議室
- 内 容：第1回 平成27年12月21日 (月)

テーマ：「広告権利問題の基礎」	講師：小竹委員長
第2回 平成28年1月22日 (金)	
テーマ：「肖像権/パブリシティ権」	講師：渡部委員
第3回 平成28年1月29日 (金)	
テーマ：「景品表示法」	講師：中西委員
第4回 平成28年2月19日 (金)	
テーマ：「商標権」	講師：森村委員
第5回 平成28年3月8日 (火)	

テーマ：「クレーム対応／ネイティブアド」 講師：渡部委員、山本WG委員

(3) 制作取引小委員会 (委員長：沼澤 忍)

①委員の交替等

関根 澄人 (アサツー ディ・ケイ)

→ 寺坂 要一 (同社 プロセスマネジメント本部購買局チームリーダー)

知念 太郎 (大広)

→ 中村 太郎 (同社 第1ビジネスユニットクリエイティブ局局长)

大島 清二 (日本経済社)

→ 河野 直之 (同社 クリエイティブ推進室チーフクリエイティブディレクター)

大塚 敦夫 (博報堂)

→ 山本貴美子 (同社 購買局コストマネジメント2部部长)

● 補充

永浦 利康 (博報堂 クリエイティブ戦略企画室第3計画管理部部長)

②副委員長の互選

- 寺坂 要一 (アサツー ディ・ケイ)

③マルチコプター (ドローン) 安全運用セミナー

日本アド・コンテンツ制作社連盟「マルチコプター安全運用委員会」が勧める、広告会社が知っておくべきマルチコプター業者の選定や撮影のリスク管理について、説明を受けた。

説明者：宮下 俊 (東北新社 常務執行役員CM統括本部長)

森田 直樹 (電通 第5CRプランニング局クリエイティブディレクター)

参加者：20名 (12社)

[5] 広告問題研究委員会 (担当理事：櫻井 正伍 委員長：佐藤 渡)

[1] 委員の交替等

(1) 委員の交替

佐藤 渡 (アサツー ディ・ケイ)

→ 殿村 良彦 (同社 社長室)

鹿野 瑞樹 (朝日広告社)

→ 池田 正明 (同社 経営企画室)

神通 靖彦 (東急エージェンシー)

→ 近藤 康之 (同社 コーポレート本部経営企画室局長)

小崎 宏 (博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 樋口 友子 (同社 第一計画管理局長)

沢目 宗明 (マクキャンエリクソン)

→ 松本 武士 (同社 媒体本部エグゼクティブビジネスディレクター)

(2) 委員長の互選

- 北原 利行 (電通)

(3) 平成27年度「下請取引適正化推進月間(11月) キャンペーン標語」について

中小企業庁と公正取引委員会より、標記標語募集に関し8月5日に審査協力依頼があり、村井専務理事が対応した。

審査結果は以下の通りで、9月24日に中小企業庁と公正取引委員会のホームページで発表された。

【特選】押しつけず 叩かず 決めよう 適正価格

(4) 内閣官房「クールジャパン官民連携プラットフォーム」の設立について

10月30日、経済産業省商務情報政策局より、内閣官房知的財産戦略推進事務局による官民や業種間の垣根を越えたクールジャパンを推進する協議会の設立にあたり参加協力の依頼があり、12月15日、村井専務理事が設立総会に出席した。

[2] 小委員会の活動

(1) 環境小委員会 (委員長: 川谷 愛作)

① 委員の交替

見山 典子 (アサツー ディ・ケイ)

→ 中村由美子 (同社 アクティベーション・マネジメント本部コンシューマー・アクティベーション開発室
インスタ・ソリューション開発グループシニア・プランナー)

原山 光生 (電通)

→ 大司洋二郎 (同社 法務マネジメント局CSR推進部部长)

高橋 研 (東急エージェンシー)

→ 山本 充裕 (同社 ソリューション本部企画推進局専任局長)

② 「広告人のための環境コミュニケーション入門」第6版改訂について

平成22年発行の第6版を見直し、新たに「環境ラベル及び宣言/自己宣言による環境表示(タイプⅡ環境ラベル表示) 修正票に基づく用語説明」を添付し、第43回新入社員教育セミナー時に配布した。

また、「環境ラベル及び宣言規格」と「その他の環境表示にかかわる事項」の2部構成で、平成28年4月に第7版を発行することとした。

③ 第4回「環境モラルアップポスター」募集について

「環境モラルアップ」を促すインナープロモーションとして、環境問題をテーマに会員社にポスター案を募集した。募集要項を環境月間の6月にJAAAレポート及び協会ホームページに発表すると共に、会員全社にメール送信して募集を開始し、7月31日に締め切った。

8月11日、審査会を開催し審査結果を、10月1日付けで発表した。

■ テーマ: 「広告人としてできる環境活動をプッシュしてくれるもの」

■ 表彰: 最優秀賞1点(10万円の図書カード)

■ 応募総数: 82作品(11社68名)

■ 審査結果: 10月1日、「JAAAレポート」10月号並びに協会ホームページにて発表

■ 入賞作品: 私はきちんと、わけてます。

■制作者：吉川 希恵(アサツー ディ・ケイ コーポレート本部)
(共同) 北村 昇平(アサツー ディ・ケイ コーポレート本部総務局)

4

取引合理化関係

【1】取引合理化委員会(担当理事:岩井 秀一 委員長:加藤 讓)

【1】委員の交替

- 根岸 豊(東急エージェンシー)
→ 澁谷 尚幸(同社 代表取締役専務執行役員)
- 水島 正幸(博報堂)
→ 岸 直彦(同社 執行役員営業統括局長)
- 島田 誠一(日本広告業協会)
→ 村井 知哉(同協会 専務理事)

【2】「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」活動報告承認について

8月26日開催の取引合理化委員会にて、営業課題検討小委員会・情報システム小委員会が所属する「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」から、「平成29(2017)年度内にテレビCMのオンライン運用の開始を目標とし、そのオンライン運用モデル(案)を提案する」旨、説明があり、これを承認した。

【3】第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」結果承認について

平成28年1月25日開催の取引合理化委員会にて、ビジョン小委員会より、受賞を内定したコミュニケーションの説明があり、検討の結果、これを承認した。

【4】小委員会の活動

(1) 取引合理化小委員会(委員長:中野 智司)

①マイナンバー法制度対応について

「マイナンバー法」について、支払調書等の扱い、適正に扱うための社内規程の整備、特定個人情報安全管理措置の検討など、各社の取り組みについて情報交換した。

②「広告会社のための下請法ガイドブック」改訂について

消費税転嫁対策特別措置法、下請法改正等の内容を受け、平成28年4月に改訂版を発行することとし、改訂作業を行った。

(2) 情報システム小委員会(委員長:川上 勲)

①委員の交替等

■交替

石原 宏(東急エージェンシー)

→ 後藤 三幸(同社 コーポレート本部経営企画室ICT推進部専任部長)

■退任

内山 信也(博報堂DYホールディングス グループ情報システム局システム3部長)

荻野 達也(博報堂DYホールディングス グループ情報システム局システム2部長)

②平成27年度「情報システムに関するアンケート」の実施

毎年委員会構成社を対象に定点観測的に実施している「情報システムに関するアンケート」の結果報告を、JAAAレポート2月号(No.718)にて掲載した。今回は、「標的型サイバー攻撃」の有無や事前に防ぐための対策状況、グループ企業に対するITガバナンスについての取り組みの項目などを新設し、報告をまとめた。

③「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について

当委員会としては、広告会社のシステム対応の課題を中心に検討を行うと共に、「システム検討ワーキングメンバー」をプロジェクトに選出し、「協調領域参入事業者向けガイドライン(案)」の策定にあたった。

「システム検討ワーキングメンバー」

リーダー 中川 亨規(電通 情報システム局兼ラジオテレビ局)

メンバー 小出 泰実(アサツー ディ・ケイ IT業務推進局ITサービス推進チームリーダー)

向山 真人(ジェイアール東日本企画 経営企画局情報システム部部長代理)

佐藤 昌良(博報堂DYホールディングス グループ情報システム局)

山崎 輝久(マクキャンエリクソン ビジネスサポートグループ)

④「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」システム開発タスクフォースについて

広告EDIセンターより、協調領域の事業計画の為のタスクフォースとシステム開発のためのタスクフォースからなるステアリングコミッティを組織するため、12月25日に当小委員会に依頼があり、「システム開発タスクフォース」のメンバーを選出した。

「システム開発タスクフォース」

委員長 川上 勲(博報堂DYホールディングス)

委員 奥村 卓也(電通)

小出 泰実(アサツー ディ・ケイ)

(3) ビジョン小委員会(委員長:鈴木 俊和)

①委員の交替等

■交替

中村 正彦(大広)

→ 木村 俊之(同社 ビジネス統括局 ビジネス統括室室長)

神通 靖彦(東急エージェンシー)

→ 太田 貴之(同社 コーポレート本部経営企画室経営企画部部長)

浅海 純(博報堂)

→ 夏目 穰(同社 営業統括局長代理)

伊東 裕貴(マクキャンエリクソン)

→ 松浦 良高(同社 プランニング本部シニア・プランニング・ディレクター)

■補充

萩原 浩平(ジェイアール東日本企画 執行役員デジタルソリューション局局长)

②委員長／副委員長の互選

● 委員長 : 鈴木 俊和(アサツー ディ・ケイ)

● 副委員長: 夏目 穰(博報堂)

③ICA実行ワーキンググループメンバーの交替等

■交替

馬場 葵(I&S BBDO)

→ 高木 健太(同社 コンテンツディベロップメントグループプランナー)

宮武 俊介(アサツー ディ・ケイ)

→ 菅野 卓総(同社 アカウント・マネジメントセンター第7営業本部第4営業局)

松岡 弘樹(アサツー ディ・ケイ)

→ 鷗川 将成(同社 統合ソリューションセンタークリエイティブ本部クリエイティブ・マネジメント局)

中村 元海(朝日広告社)

→ 宣 詩英(同社 統合マーケティングコミュニケーション本部デジタルソリューション局デジタルマーケティング部ソリューションチーム)

坂田 直樹(大広)

→ 大谷 拓(同社 ストラテジックプランニング局第1プランニンググループ)

越澤 太郎(電通)

→ 橋本 卓郎(同社 第2クリエイティブ・プランニング局コピーライター)

キリーロバ ナージャ(電通)

→ 伊藤奈々絵(同社 Web&システム・ソリューション局プロデュース部プロデューサー／プランナー)

仲野 大輔(東急エージェンシー)

→ 室屋 慶輔(同社 ソリューション本部クリエイティブ局)

出村 光世(東急エージェンシー)

→ 石井 絢子(同社 第3営業本部第5営業局第1営業部)

柳原 類(博報堂)

→ 西野慶史郎(同社 営業統括局グループ戦略企画グループマネジメントプランニングスーパーバイザー)

蔵田 泰明(マクキャンエリクソン)

→ 足立章太郎(同社 制作本部アートディレクター)

橋本 千瑛(マクキャンエリクソン)

→ 折茂 彰弘(同社 プランニング本部プランナー)

山澤 雅之(読売広告社)

- 永野 広志 (同社 クリエイティブ局第2クリエイティブルームコピーライター/プランナー)
- 吉田 洋基 (読売広告社)
- 白川 遼 (同社 都市生活研究所 開発推進ルーム)

■ 補充

- 船越 拓 (ジェイアール東日本企画 第一営業局第一部)
- 岡田 裕 (ジェイアール東日本企画 第五営業局第二部)

■ 幹事の交替

- 出村 光世 (東急エージェンシー)
- 小林 弘嗣 (I&S BBDO プランニンググループコミュニケーションデザインチームプランナー)
- 柳原 類 (博報堂)
- 西野慶史郎 (同社 営業統括局グループ戦略企画グループマネジメントプランニングスーパーバイザー)

④第2回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 (ICA)」受賞発表

第2回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞 (ICA)」の審査結果は、JAAAレポート4月号 (No.705) 並びに当協会ホームページにて発表した。

4月14日、東京国際フォーラムで開催された、「AdverTimes DAYS」(当協会協力・宣伝会議主催)にて、ボード提示によるPRを実施した。

⑤第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award— (ICA)」について

業界の活性化を目的とし3年目を迎えた、「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞—Innovative Communication Award— (ICA)」、第3回目の募集・選考を行った。

■ 活動主旨

世の中に次々と現れる新しいコミュニケーションのカタチを広告業界の次代を担う若手の人たちが見出し、広告業界が讃えることで、拡がるコミュニケーションビジネスの新たな可能性を提示し、広告業界活性化の一助とする。

■ 運営スケジュール

- 募集期間：平成27年10月1日 (木)～31日 (土)
- 審査期間：平成27年11月～12月
- 確認・承認期間：平成28年2月～3月
- 発表：平成28年4月1日JAAAレポート4月号、協会ホームページ

■ 募集活動

平成27年10月1日募集開始、告知ポスターを会員社に発送するとともに、JAAAレポート10月号 (No.713) 並びに協会ホームページに下記応募要項を発表、10月31日に締め切った。

■ 審査スケジュールと経緯

- 平成27年11月13日 第一次審査会
 - ・応募点数：144件 (前回 186件)
- 第一次通過作品：65件
 - 平成27年12月10日 第二次審査会

- 第二次通過作品：15件

平成27年12月19日 最終審査会

- 大賞1件、優秀賞4件、特別賞1件を内定

■審査結果

【大賞】1件

タイトル：訪日メディア MATCHA やさしい日本語版

内 容：訪日外国人向けWebメディア「MATCHA」は、やさしい日本語を取り入れて、世界中にいる日本語学習者のため、語学学習をしながら日本のことを知ってもらうサービス。

【優秀賞】4件

1) タイトル：SHARE VILLAGE

内 容：村の概念をひっくり返すプロジェクト。「村があるから村民がいるのではなく、村民がいるから村ができる」という考えのもと、消滅の危機にある古民家を村に見立てて再生させていくプロジェクト。

2) タイトル：HALLOWEEN&TOKYO

内 容：ハロウィンが東京で年々盛り上がりを見せる一方、繁華街でのごみの散乱が社会問題になっており、かわいい「カボチャのごみ袋」で楽しくごみ拾い活動を推進し、環境美化への行動を喚起したキャンペーン。

3) タイトル：世界ゆるスポーツ協会

内 容：「世界から、スポーツ弱者をなくす」というコンセプトの下、老若男女・運動神経・障害の有無にかかわらず、一緒に笑いながらできる「ゆるスポーツ」をつくり続けるスポーツ活動。

4) タイトル：SHIBUYA Halloween Ghostbusters &TRASH ART

内 容：西野亮廣氏の発案で、ハロウィン後のゴミ問題に対し、映画「ゴーストバスターズ」のように楽しく掃除し、課題解決を娯楽化させた施策。

【特別賞】1件

タイトル：ことりつぎ

内 容：「かもめブックス」が提供する、誰でも書店を開ける仕組み。書店を作りたい人は、Webで申し込み、アプリで好きな本の選定、販売、在庫の管理のサポートを受けながら、自分が選定した本を売るシステム。

(4) 営業課題検討小委員会 (委員長：橋爪恒二郎)

①委員の交替

大滝 喜弘(電通)

→ 橋爪恒二郎(同社 ビジネス統括局専任局長)

大石 文隆(東急エージェンシー)

→ 荒木久一郎(同社 営業戦略推進本部営業企画局専任局長)

②委員長の互選

- 橋爪恒二郎(電通)

③「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について

4月27日、日本アドバタイザーズ協会電波専門委員会オンライン送稿ワーキンググループリーダー青谷委員長他3委員に対して、1) 平成27年オンライン運用推進体制、2) オンライン運用化に向けた動き、を中心に当協会の活動を説明した。

<日本アドバタイザーズ協会>

青谷電波専門委員長(NTTドコモ)・出水委員(トヨタマーケティングジャパン)・梶原委員(NTTドコモ)・森田委員(明治)

<日本広告業協会>

桜井テレビ小委員長・小島副委員長／大滝営業課題検討小委員長／沼澤制作取引小委員長／外山デジタル特別委員会委員長

また、「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」について、当小委員会としては、広告会社の営業課題を中心に検討した。

[2] メディア委員会 (担当理事:大森 壽郎 委員長:高田 佳夫)

[1] 委員の交替

大芝 賢二(アサツー ディ・ケイ)

→ 亀井 典明(同社 執行役員メディア&データインサイトセクター統括)

遠藤 真郷(ジェイアール東日本企画)

→ 弓矢 政法(同社 取締役メディア・コンテンツ本部長)

島田 誠一(日本広告業協会)

→ 村井 知哉(同協会 専務理事)

[2] 第11回「日本放送文化大賞」審査員の派遣

日本民間放送連盟からの依頼により、メディア委員会より以下の通り委員を派遣した。なお、審査結果は、平成27年11月10日開催の民間放送全国大会(大阪開催)にて発表された。

<中央審査員>

◇テレビ審査員 景山 和憲(博報堂)

◇ラジオ審査員 齋藤 幸蔵(マクキャンエリクソン)

<東京地区審査員>

◇テレビ審査員 弓矢 政法(ジェイアール東日本企画)

<近畿地区審査員>

◇テレビ審査員 松井 薫(I&S BBDO)

[3] メディア委員会と日本民間放送連盟・営業委員会との情報交換会

平成27年5月14日、ラウンジ春秋館にて開催され、当協会からは大森担当理事、高田委員長、メ

メディア委員会委員、テレビ小委員会委員、デジタル特別委員会委員長、副委員長、テレビ小委員会CM運行ワーキンググループ/字幕付きCM検討ワーキンググループ代表が出席し、テレビ広告をテーマに懇談を行った。

[4]「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」活動報告承認について

平成27年8月26日開催のメディア委員会にて、デジタル特別委員会・テレビ小委員会が所属する「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」から、「平成29(2017)年度内にテレビCMのオンライン運用の開始を目標とし、そのオンライン運用モデル(案)を提案する」旨、説明があり、これを承認した。

[5]テレビ小委員会「予備費申請」について

テレビ小委員会より、インターネット広告小委員会と共催で、伸展する動画広告の取り組みを考える「JAAA動画広告フォーラム2016」を、平成28年2月15日に開催すべく、その開催費用の予備費の申請があり、これを承認、第289回理事会に諮ることとした。

[6]特別委員会、小委員会の活動

(1) デジタル特別委員会 (委員長:外山 善太)

①委員の補充等

■補充

池上 巧(東急エージェンシー メディア本部専任局長兼計画部部长)

■退任

池田 恒夫(東急エージェンシー メディア本部計画部)

②テレビCM素材のオンライン運用の検討について

■インターネットでの10桁CMコード利用

在京5社の見逃し配信の「キャッチアップ」(仮称)サービスや、インターネットの動画CMにおける10桁CMコード利用について、業協非加盟社から利用許諾の要望があり、検討した。共通コード管理センターの運営費用は、日本民間放送連盟と当協会が負担していることを踏まえ、関係社に10桁CMコードの利用を容認することとした。

■日本アドバタイザーズ協会への報告

8月3日、テレビ小委員会の委員長・副委員長他と合同で、「CM素材のオンライン運用の検討状況」について、業協として2017年を目標にオンライン運用導入を積極的に推進する旨、説明を行った。12月4日、テレビ小委員会・制作取引小委員会・営業課題検討小委員会の委員長・副委員長他と8月以降の経過報告とオンライン運用モデル案の説明を行った。

■「CM素材オンライン運用検討プロジェクト・事業計画タスクフォース」

12月24日、広告EDIセンターより、協調領域の事業計画策定およびシステム開発の体制としてステアリングコミティを組織して進めたいという依頼があり、12月25日、「事業計画タスクフォース」のメンバー選出し、参画を決めた。

「事業計画タスクフォース」

委員長 外山 善太 (博報堂DYメディアパートナーズ)

副委員長 大川 英明 (アサツー ディ・ケイ)

副委員長 岩崎 史朗 (電通)

委員 末澤 淳 (博報堂DYメディアパートナーズ)

③ デジタル特別委員会・平成27年度「CM素材ファイル運用促進プロジェクト (アドミッション・フェーズ2)」について

平成27年度の主な活動は、オンライン運用実現の為の戦略プロジェクトとして、論点の集約、対応課題の検討を行い、「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」に「責任分界 (案)」、「費目と費用の流れ (案)」などの提案を行った。

また、テレビ及びラジオにおけるCM運用の正確性向上と効率化のために、10桁CMコードとCM素材交換メタデータを活用するために、CM登録認証サービス (CMAS) のシステム運用を広告EDIセンターに委託し下記を実施した。

- CMASの広告業の立場から更なる機能強化と業界標準化の推進
- プロジェクト内担当メンバーによる「システム連絡会」を組織し、CMASの活用方法を検討

■ プロジェクト運営費用に関する考え方

アドミッション・フェーズ2 平成27年度収支見込み (平成27年12月末)

参加社計	7社1グループ
▶ 収入見込み	47,962,800円 (税込)
▶ 支出見込み	47,934,400円 (税込)
収支差額	28,400円 (税込)

④ 見逃し配信のCM素材搬入について

・・・「テレビ小委員会」の項参照・・・

(2) テレビ小委員会 (委員長: 桜井 徹哉)

① 委員の交替等

■ 交替

小島 一洋 (アサツー ディ・ケイ)

→ 和田 尚志 (同社 テレビラジオ本部テレビスポット局局长)

植松 健 (フロンテッジ)

→ 宮田 武俊 (同社 執行役員営業本部メディア部門部門長)

■ 補充

高橋 宏昭 (博報堂DYメディアパートナーズ テレビスポットビジネス局長)

■ 副委員長の互選と補充

- 副委員長: 和田 尚志 (アサツー ディ・ケイ)

高橋 宏昭 (博報堂DYメディアパートナーズ)

② テレビ広告取引の研究、検討

1) 有事の際のテレビCMの対応について

8月3日、日本アドバタイザーズ協会・有事対応ワーキンググループの土橋電波委員会委員長・

出水委員へ当協会の検討状況を日本民間放送連盟とともに報告した。

9月28日、当協会より日本民間放送連盟へ、具体的な課題検討のために、有事の際の放送局の対応について、回答書を依頼した。

11月9日、当協会より、日本アドバイザーズ協会有事対応ワーキンググループに、8月以降の日本民間放送連盟との検討状況を報告した。

平成28年3月31日、日本民間放送連盟と当協会テレビ小委員会委員長・副委員長他で、各団体のセカンドステップの検討を報告し、民放東京5社営業責任者会合の文書「重大な事象発生時のテレビジョン放送に関して」を受け、当協会は「有事の対応」のセカンドステップの具現化を提案した。

2) 字幕付きCMについて

(1) JAAALレポート5月号 (No.706) 特集「字幕付きCMの取り組みについて」

1月14日に開催した「字幕付きCMセミナー」の概要をとりまとめた。

(2) 「字幕付きCM普及推進協議会」

5月28日、日本アドバイザーズ協会・日本民間放送連盟並びに当協会で構成する字幕付きCM普及推進協議会は、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会並びに全日本ろうあ連盟を迎えて、意見交換会を実施、協議会の活動状況並びに、3団体の字幕付きCMの取り組みを報告した。

「字幕付きCM普及推進協議会」は、平成27年10月より2年目を迎え、幹事団体が当協会となり、運営主体となった。10月23日、日本アドバイザーズ協会・日本民間放送連盟並びに当協会3団体による、第2期（平成27年10月～平成28年9月）目の「字幕付きCM普及推進協議会」運営委員会を開催した。

第2期活動計画案として、

I) 広告関係者への啓発活動として大阪での説明会の開催

II) 聴覚障害者との意見交換

III) 字幕付きCM技術研究のヒアリング

を今期の活動ポイントとした。

● 字幕付きCM普及推進協議会運営委員

委員長 林 朋夫 [日本広告業協会 テレビ小委員会副委員長 (電通 ラジオテレビ局局长補)]

委員 土橋 代幸 [日本アドバイザーズ協会 電波委員長 (トヨタマーケティングジャパン 取締役)]

藤川 達夫 [日本アドバイザーズ協会 専務理事]

塩野弥千夫 [日本民間放送連盟 CM運行検討小委員長 (日本テレビ放送網 営業局長)]

河野 宙 [日本民間放送連盟 字幕付きCMワーキンググループ主査 (フジテレビジョン 営業局担当局長兼営業管理センター室長)]

木村 信哉 [日本民間放送連盟 専務理事]

村井 知哉 [日本広告業協会 専務理事]

■ 字幕付きCM普及推進協議会「第2回字幕付きCMセミナー」

以下の通り、開催した。

- 日 時：平成28年3月22日(火) 14時～16時
- 会 場：電通関西支社12Fホール
- 後 援：総務省、経産省
- 協 力：大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会
- プログラム：開会あいさつ

村井 知哉(字幕付きCM普及推進協議会 運営委員/日本広告業協会 専務理事)
字幕付きCM広告主の取り組み報告

あいさつ

土橋 代幸(字幕付きCM普及推進協議会 運営委員/日本アドバイザーズ協会
電波委員長)

講 演「パナソニックの取り組みについて」

新田 淳(パナソニック ブランドコミュニケーション本部宣伝部アドメディア推進室
室長)

事例紹介「積水ハウスの取り組みについて」

講 演「字幕付きCMの普及を前に進める」

石原 誠一(総務省 情報流通行政局地上放送課課長補佐)

パネルディスカッション

「字幕付きCMに望むこと～広告界への期待」

松森 果林(ユニバーサルデザイン アドバイザー)

福島 孝博(追手門大学国際教養学部准教授)

モデレーター

佐多 直厚(電通 ビジネス・クリエーション・センター電通総研 研究主幹電通ダイバー
シティー・ラボ)

閉会あいさつ

塩野弥千夫(字幕付きCM普及推進協議会 運営委員/日本民間放送連盟 CM運行検
討小委員長)

- 参加者：160名(81社)

3) 「テレビCM素材搬入基準～CM素材の搬入から返却まで～【2015年7月改定版】」について

日本民間放送連盟と当協会で作成したテレビCM素材搬入基準は、平成27年11月の適用開始に向け、7月下旬に両団体の会員に向け、ホームページ提示を含め周知をはかった。

4) 日本民間放送連盟「放送基準149条」の改定について

6月29日、日本民間放送連盟より、番組の編成手法やコマーシャルの挿入方法の多様化により、プライムタイムの一律的な運用が難しいため、「広告の時間基準」を現状に合わせた文言修正の改定説明を受けた。

5) 「民放 地上デジタル放送 視聴環境 世帯数調査」について

5月25日、「本調査は、当該放送局を見ることが可能かどうかという調査対象者の認識を確認

した結果に基づき、全国統一基準で判定した。」旨、会員全社に補足説明を行うと共に、日本民間放送連盟に報告した。

6) 「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」報告

8月3日、日本アドタイザーズ協会・オンライン送稿ワーキンググループの青谷電波専門委員会委員長・松村委員・森田委員へ当協会の検討状況を日本民間放送連盟とともに報告した。

平成28年2月23日、日本民間放送連盟営業委員会による「テレビCMオンライン運用に関する全社会議」にて、CM素材オンライン運用の説明を要望され、講師として、CM素材オンライン運用検討プロジェクト外山リーダー、CM運行ワーキンググループの小林サブリーダーを派遣した。

7) 見逃し配信の「キャッチアップ」サービスについて

在京5社配信ビジネス検討会より、在京民放5社が、テレビ番組の無料広告付き見逃し配信サービスを、民放公式テレビポータル「TVer (ティーバー)」を立ち上げ、平成27年10月より国内限定サービスとして実施する旨、説明を受けた。

8) ビデオリサーチ「これからの視聴率」について

・・・・・・「メディア調査研究小委員会」の項参照・・・・・・

9) 個人向け無担保ローンCMに関する共通認識について

消費者金融CMに関する在京テレビ5社連絡会より、平成24年11月に制定した「個人向け無担保ローンCMに関する運用ルール」に付随して、児童・青少年へ配慮したタレント広告の取り扱いに関する注意喚起の説明があった。当協会は広告会社に向けた周知をはかるため、個人向け無担保ローンCMに関する共通認識文書を依頼し、情報共有をはかることとした。

説明者：＜消費者金融CMに関する在京テレビ5社連絡会＞

茂木 達郎 (日本テレビ放送網 営業局CM部長)

小野 直子 (日本テレビ放送網 営業局CM部担当部次長)

遠山 昭弘 (日本民間放送連盟 番組部主幹)

10月20日、当協会営業課題検討小委員会・制作取引小委員会に周知説明を行った。特に、児童・青少年への配慮として、タレント・スポーツ選手の扱いについては、考査回答の前に事前に相談することが要望された。

10) テレビCM考査について

同一テレビCM素材について、各放送局の考査判断が異なるため、考査に関する課題認識を共有するため、小委員会構成社でアンケートを行い、また、放送局関係者に働きかけ検討することとした。

【主な共通の課題認識】

- 「民放連放送基準」の条文解釈に幅がある。
- 放送局内の内規が未公開のため、得意先への明確な説明が難しい。
- 放送局ごと、エリアごとに考査判断が異なる、等

③放送確認書の更なる精度向上を目的とした放送確認ワーキンググループによる活動

1) 平成26年度下期「放送確認書誤記載調査」結果報告

放送確認ワーキンググループによる調査を実施し、平成27年7月31日開催のテレビ広告懇談会に

て日本民間放送連盟に報告し、注意喚起を要請した。

- 調査参加会社：放送確認ワーキンググループ15社
I&S BBDO、アサツー デイ・ケイ、朝日広告社、オリコム、ジェイアール東日本企画、デルフィス、電通、電通ヤング・アンド・ルビカム、東急エージェンシー、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン
- 調査期間：平成26年10月～平成27年3月(6ヵ月間)
- 調査局数：127局
- 調査結果：番組 56件(「放送はしたが確認書記載漏れ」が最も多く、システムの問題に起因するものとなっている。)
 - スポット 87件(広告主名の誤記載が今回も突出して多く、契約名の誤記載件数も変わらず多い。社名変更に伴うもの、誤入力等、人的作業ミスによるものとなっている。)

2) 平成27年度上期「放送確認書記載調査」結果報告

放送確認ワーキンググループによる調査を実施し、平成28年1月26日開催のテレビ広告懇談会にて日本民間放送連盟に報告し、注意喚起を要請した。

- 調査参加会社：放送確認ワーキンググループ15社
I&S BBDO、アサツー デイ・ケイ、朝日広告社、オリコム、ジェイアール東日本企画、デルフィス、電通、電通ヤング・アンド・ルビカム、東急エージェンシー、日本経済社、博報堂DYメディアパートナーズ、ビデオプロモーション、フロンテッジ、毎日広告社、マッキャンエリクソン
- 調査期間：平成27年4月～9月(6ヵ月間)
- 調査局数：127局
- 調査結果：番組 46件(「放送はしたが確認書記載漏れ」の報告件数は減少。広告主名の誤記載は前回同様最も多かった。)
 - スポット128件(番組同様、広告主名の誤記載が多く、理由は人的作業ミスが多かった。)

④JAAA「動画広告フォーラム2016」について

平成28年2月を目標に「動画広告フォーラム2016」を、インターネット広告小委員会と検討し、日本民間放送連盟・日本インタラクティブ広告協会の協力の基、開催することとした。林副委員長をリーダーに「テレビ小委員会動画フォーラム実行ワーキンググループ」を組織し、2月4日、第289回理事会にて予備費の承認を受け、以下の通り、開催した。

「テレビ小委員会動画フォーラム実行ワーキンググループ」

リーダー 林 朋夫(電通/テレビ小委員会副委員長)

メンバー 湯澤 大介(朝日広告社/テレビ小委員会委員)

桜井 靖(ジェイアール東日本企画/テレビ小委員会委員)

■JAAA動画広告フォーラム2016

- テーマ：「今知っておくべき動画広告のインパクトと近未来対応」
- 主催：テレビ小委員会、インターネット広告小委員会
- 協力：日本民間放送連盟、日本インタラクティブ広告協会
- 日時：平成28年2月15日（月）13時30分～17時20分
- 会場：ヤクルトホール
- プログラム：「開会あいさつ」

桜井 徹哉（テレビ小委員会委員長／博報堂DYメディアパートナーズ）

「基調講演：日本における動画広告市場の“今”と“これから”」

河村 徹生（博報堂DYメディアパートナーズ メディアビジネス開発センター開発一部兼
データドリブンメディアマーケティングセンター プランニング部）

「講演：つい見たくなる！のつくり方～ Pull型動画コミュニケーション～」

阿部 光史（電通 第4CRプランニング局クリエイティブディレクター）

鹿間 天平（電通 MCプランニング局メディア・プランニング室プランニング1部インタラ
クティブ・プロデューサー）

「講演：デジタル（動画）マーケティングの取り組みについて」

木村 知世（パナソニック CMJ本部コミュニケーション部WEB課）

「パネルディスカッション動画広告ビジネスの今後を探る！トップランナーの考えと
は！」

千賀 由久（マクキャンエリクソン 媒体本部デジタル局長）

龍宝 正峰（TBS—HD 総合開発局総合開発部長）

原 邦雄（Google 執行役員営業本部長）

土橋 代幸（トヨタマーケティングジャパン 取締役）

司会：須賀 久彌（プレゼントキャスト 代表取締役社長）

「講演：動画広告と広告の近未来」(動画広告フォーラムのまとめ)

植村 祐嗣（インターネット広告小委員会委員長／電通）

「閉会あいさつ」

村井 知哉（日本広告業協会 専務理事）

- 参加費：5,400円
- 参加者：586名

⑤テレビ広告取引に関する民放連・業協懇談会（テレビ広告懇談会）

日本民間放送連盟・業務対策小委員会在京テレビ5社委員と当協会・テレビ小委員会で、テレビ
広告の取引に関連した諸問題について意見交換を行った。

[平成27年7月31日]

1. 平成26年度下期「放送確認書誤記載調査」結果報告
2. いわゆる“有事”のCMの扱いについて
3. CM素材のオンライン運用に関する検討について
4. 字幕付きCMの普及促進について

5. 放送基準の一部改正について
6. メディア価値向上に向けた検討について
7. JAAA「動画広告フォーラム2016（案）」開催について

[平成28年1月26日]

1. 平成27年度上期「放送確認書誤記載調査」報告
2. 字幕付きCM普及推進協議会
3. 「テレビCMに関する意見交換会」（有事の対応）の件
4. CM素材のオンライン運用の件
5. 「JAAA動画広告フォーラム2016」の件

⑥ 共通コード管理センター発番普及促進について

「広告事業者コード」の発番普及促進を共通コード管理センターと推進した。

■ 発番件数 46,766社（平成28年3月31日現在）

※参考：44,983社（平成27年3月31日現在）

(3) ラジオ小委員会（委員長：大木 秀幸）

① 委員の交替等

■ 交替

- 末永 建治（アサツー ディ・ケイ テレビラジオ本部ラジオ局長）
- 小島 一洋（同社 テレビラジオ本部テレビスポット局局長）
- 長田 一秀（朝日広告社）
- 湯澤 大介（同社 メディア本部メディア第2局長）
- 吉野 錠司（三晃社）
- 伊藤 雄介（同社 媒体局メディアマーケティング部長）
- 平澤 俊哉（東急エージェンシー）
- 佐藤 光浩（同社 メディア本部テレビ・ラジオ局ラジオ部長）

■ 副委員長の互選

- 小島 一洋（アサツー ディ・ケイ）

② ラジオCM取引及び素材運用のデジタル化実現に向けた活動

■ 「ラジオCM素材搬入基準（2015年9月版）（案）」について

ラジオCM素材搬入のオンライン運用に向けた第1段階として、「ラジオCM素材取扱い要領」を改訂し、日本民間放送連盟と当協会連名による「ラジオCM素材搬入基準（2015年9月版）（案）」を9月16日に策定した。同案の説明を放送局に行うとともに、8月6日、日本民間放送連盟のラジオ全社説明会にて、当協会ラジオCM運行ワーキンググループ末澤リーダー（博報堂DYメディアパートナーズ）から「ラジオCMオンライン運用の検討状況」の説明を行い、日本民間放送連盟並びに当協会員全社に向けて、案内を行った。

■ ラジオCMのオンライン運用について

オンライン運用を推進するために、1) ラジオCM進行サブワーキンググループ、2) ラジオオンライン技術サブワーキンググループを設置し、平成27年度内に「オンライン用搬入基準策定」「コスト

に基づいた費用負担モデル策定」を行い、平成29年4月からオンライン運用開始、1年間で完全移行を目指すことを目標とし活動を進めた。

1) ラジオCM進行サブワーキンググループ

活動内容：オンライン搬入基準の策定に向けて、ラジオCM進行に関わる用語の統一を図り、チャック情報の取り扱いについて検討を進める。

2) ラジオオンライン技術サブワーキンググループ

活動内容：送稿インフラの開発に向けて、事業者の選定の前提となるオンラインサービス要件をとりまとめる。

1月19日、日本民間放送連盟ラジオCM運行ワーキンググループとの合同会議にて、ラジオCMのオンライン優先事業者として、「TypeR」を選定した。広告EDIセンターとの協業による開発や、オンライン関連用語・定義の統一を行い、各会員社への周知をはかった。

③ラジオ広告活性化に向けた活動と研究

■エフエム東京「VHF-Low帯マルチメディア放送『i-dio (アイディオ)』」のラジオ対応について

■radiko「タイムフリー機能サービス」について

(4) 新聞小委員会 (委員長:東末 吉史)

①委員の交替等

■交替

越前谷寛之 (I&S BBDO)

→ 難波 秀幸 (同社 メディアグループ統合メディアバイイングメディアディレクター)

高田 幸郎 (アサツー ディ・ケイ)

→ 細野 和也 (同社 新聞・雑誌本部新聞局長)

村井 知哉 (電通)

→ 前田 真一 (同社 新聞局長)

鈴木 清博 (東急エージェンシー)

→ 月野木麻里 (同社 メディア本部新聞・雑誌局局長)

山本 憲吾 (博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 東末 吉史 (同社 新聞局局長)

■委員長・副委員長の互選

● 委員長 : 東末 吉史 (博報堂DYメディアパートナーズ)

● 副委員長 : 細野 和也 (アサツー ディ・ケイ)

前田 真一 (電通)

②新聞広告掲載確認調査の実施

◇第三者機関のモニタリング調査による掲載確認の実施

■概要

第三者機関を選定し、年2回(半期に1回)で日本新聞協会加盟新聞社の全紙・全版を調査。指定広告主の広告が、指定調査日発行の新聞の全版(初版~最終版)に掲載されているかを確認する。

なお、確認ターゲット広告及び実施日については当協会で選定。

第三者機関として、エム・アール・エス広告調査株式会社（MRS）を選定。

■結果

日本新聞協会加盟紙を対象に2回実施し、全てにおいてMRSより、「照合ができ、不掲載無し」との報告を受け、その後、日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会にレポートを掲出した。また、会員社、報道関係にも報告を行った。

[調査結果]

■第1回（7月度）

- 調査実施日：平成27年7月8日（水）
- 調査対象：全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙
対象177紙・314版
- 調査対象広告（確認ターゲット）数：606
- 調査結果：掲載が確認できなかった広告…なし
- 報告発表：平成27年8月6日（木）

日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会、当協会会員社

■第2回（2月度）

- 調査実施日：平成28年2月24日（水）
- 調査対象：全国紙、ブロック紙、地方紙、スポーツ紙、専門紙・夕刊紙
対象177紙・304版
- 調査対象広告（確認ターゲット）数：590
- 調査結果：掲載が確認できなかった広告…なし
- 報告発表：平成28年3月31日（木）

日本アドバイザーズ協会、日本新聞協会、当協会会員社

◇日本新聞協会加盟新聞社からの報告書の提出

■概要

日本新聞協会に対し、加盟新聞社（発行本社単位で106社）の前月広告掲載全般に関しての掲載報告書の提出を要請し了承された。

掲載報告書は毎月、日本新聞協会を通じて新聞小委員会に提出され、その後日本アドバイザーズ協会に写しを提出した。

■結果

日本新聞協会より、「平成27年4月度～平成28年3月度において掲載確認に問題無し」との掲載報告書が提出され、日本アドバイザーズ協会に提出した。なお、掲載報告書は、各新聞社、日本新聞協会・広告委員会、日本広告業協会・新聞小委員会にて1年間保管することとしている。

③新聞広告に関わる業界の課題研究、検討

1) 「N-PDF」推進について

日本新聞協会加盟社96紙のうち、N-PDF形式での入稿が可能な新聞が38紙で、販売・保守

のサポート切れの制作製版環境もあと1～2年が限度といわれている。当協会新聞小委員会より「N-PDF」原稿の受け入れのお願いを日本新聞協会未対応新聞社へ再度働きかけ、平成28年1月22日、日本新聞協会・広告委員会へ「N-PDF」の推進説明を行った。

■N-PDF推進ワーキンググループメンバーの交替・補充

【交替】

石割 健・川崎 秀樹(朝日広告社)

→ 大澤 一嘉(同社 メディア本部メディア進行管理チームチームリーダー)

麻生 康式(電通)

→ 藤田 連理(同社 新聞局計画推進部)

塚本 理(博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 米谷 毅(同社 第一計画管理局新聞・雑誌進行業務部部长)

【補充】

西村 雅史(日本経済広告社 メディア本部新聞雑誌局新聞第1部)

<新体制>

リーダー : 有賀 茂喜(東急エージェンシー)

サブリーダー : 堀口 浩司(電通)

米谷 毅(博報堂DYメディアパートナーズ)

2) NSAC(日本新聞アドカラー)について

12月22日、日本新聞協会「NSAC2016更新作業チーム」と意見交換を行い、目視評価用図柄の変更、テスト印刷紙面と仮プルーフの評価・選定などにおいて協力を依頼され、対応した。

(5) 雑誌小委員会(委員長:大井 淳司)

①委員の交替等

■交替

越前谷寛之(I&S BBDO)

→ 難波 秀幸(同社 メディアグループ統合メディアバイイングメディアディレクター)

加藤 博文(朝日広告社)

→ 上田 睦子(同社 メディア本部メディア第1局雑誌部部长)

鈴木 清博(東急エージェンシー)

→ 月野木麻里(同社 メディア本部新聞・雑誌局局长)

奥山 高康(双葉通信社)

→ 吉田 千史(同社 営業推進部課長メディアグループ第1メディアチーム長)

■副委員長の互選

- 月野木麻里(東急エージェンシー)

②第2回雑誌広告効果測定調査「M-VALUE(エム・バリュー)」について

メディア調査研究小委員会と合同で、第2回雑誌広告効果測定調査「M-VALUE(エム・バリュー)」について、日本雑誌協会・日本雑誌広告協会・ビデオリサーチより、ヒアリングを行った。第2回目の調査は、広告会社5社が参加・協賛し、出版社21社36誌、646素材を対象に実施し、

出稿条件による広告効果の推定広告注目率など効果測定指標推定値の算出も可能となったと、報告があった。

③雑誌広告デジタル送稿推進協議会の雑誌広告オンライン送稿の取組みについて

日本雑誌協会、日本雑誌広告協会並びに当協会で構成する『雑誌広告デジタル送稿推進協議会』が推進する、雑誌純広告のオンライン送稿について、オンライン利用率および導入社拡大に向けて活動を行った。

1) オンライン送稿システム導入社セミナーの開催

オンライン送稿システム導入社に対し、あらためてオンライン送稿のルールや取り決めに共有し、さらなるオンライン送稿の推進を図った。

- 日 時：平成27年 5月25日（月） 13時～ 14時30分
- 会 場：小学館 一ツ橋センタービル
- 講 師：伊藤幾（小学館）、海老原進（光文社）、杉山泰弘（電通）、若松仁（博報堂DYメディアパートナーズ）
- 参加者：76名（内訳：出版社32名20社、広告会社44名20社）

2) 「締切日とセーフティー」設定について

9月30日、オンライン送稿システム導入出版社に、オンライン入稿のメリットを示した「締切日とセーフティー」設定に関する協力文書を案内した。

【文書内容】

- ・ オンライン入稿とメディア入稿の締切に差をつける
通常校了日をガイドラインで週刊誌1～2日、月刊誌2～3日の差をつける。
- ・ セーフティー設定値を天地・左右10mm
オンライン送稿システムにおける媒体登録を業界標準の天地・左右10mmに設定。

■ 雑誌オンライン送稿サービス 出版社ユーザー数 25社
広告会社ユーザー数 19社（平成27年12月1日／デジタルセンド社公表）

■ 雑誌広告オンライン送稿の進捗状況報告

広告会社から出版社へ送るPS（ページストア）の送稿本数
平成27年1月～12月合計 12,048本。

(6) 交通広告小委員会（委員長：小野寺 忠之）

①委員の交替

- 川崎 晴代（ジェイアール東日本企画）
→ 古川 義夫（同社 執行役員OOHメディア局長）
池田 剛（博報堂DYメディアパートナーズ）
→ 松尾 良太（同社 アウトドアメディア局局長）

②交通広告セミナー

OOHの広告表現をテーマに、第4回のセミナーを企画・開催した。

- 日 時：平成27年11月25日（水） 14時30分～ 16時20分

- 会 場：コートヤード・マリオット銀座東武ホテル 龍田の間
- プログラム：「参考にしたい OOHメディアの広告表現」
～効果的広告表現の分類・TRANSIT理論～
- 講 師：吉田 勝広(オリコム メディア推進室シニアディレクター/デジタルサイネージコンソーシアム 理事)
- 参加者：123名(32社)

③「携帯電話マナー表記」一部改訂について

平成23年9月に共通化した「携帯電話マナー表記」について、関東交通広告協議会より広告掲出審査判断基準の一部改定連絡があり、平成28年2月1日会員各社に周知した。

- 改定期日：平成28年1月掲出開始分より
- 変更内容(下線部)

表記方Ⅰ：「優先席付近では、混雑時には携帯電話の電源をお切りください。

また、それ以外の場所では、マナーモードに切替え、通話をご遠慮願います。」

表記方Ⅱ：「車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください。」

※広告意匠へは表記方ⅠおよびⅡいずれの表記でも可能とする。

④交通広告共通指標推進プロジェクト「交通広告共通指標推定システム」

日本鉄道広告協会、関東交通広告協議会並びに当協会による交通広告共通指標推進プロジェクトは、平成27年度は、交通広告のアカウントビリティの拡充とデータ整備を目的に、「中ぶり」「まど上」「ドア横」に、新たに「中ぶり<出版>」「ステッカー」「車内ビジョン」の3つの共通指標を加え、「交通広告共通指標推定システム」の精度向上をはかった運用を行った。

- 報告者：星野 雅央(交通広告共通指標推進プロジェクト代表幹事)
中野 雅之(JAAA交通広告ワーキンググループリーダー)
小林 勝己(ビデオリサーチ 営業局局付局長)

(7) インターネット広告小委員会(委員長:植村 祐嗣)

①委員の交替等

■交替

菅 恭一(朝日広告社)

→ 大城 勝浩(同社 IMC本部本部長補佐兼デジタルソリューション局局长)

八田 浩(オプト)

→ 中野 宣幸(同社 執行役員オンラインビデオ/ソーシャルメディア/コンテンツマーケティング管掌)

富谷 昌義(セプテーニ)

→ 鈴木 雄太(同社 メディアグロス本部スマートデバイス部部长)

足立 研(日本経済社)

→ 伊藤 耕(同社 iソリューション局iソリューション部長)

■補充

水谷 泰之(広告社 ソリューション本部クロスメディア部長)

■副委員長の互選

- 副委員長：伊達 学 (サイバーエージェント)
大堀 益弘 (博報堂DYメディアパートナーズ)

② デジタルマーケティング領域における広告会社のプレゼンスアップ

アドテック東京2015「JAAAスポンサードワークショップ」にて、12月1日に以下のプレゼンテーションを提供した。

◇ アドテック東京2015・JAAAスポンサードワークショップ

- 日 時：平成27年12月1日(火) 18時～18時40分
- 会 場：東京国際フォーラム・ワークショップB会場
- テーマ：「安心してください。デジタルでも認知とれますよ。」
- 内 容：平成26年からオンライン広告の認知効果の調査を実施し、統一的な基準値作成と共通指標の整備を進めている中で、その調査事例をもとに、「デジタル広告×認知」をテーマに、若手アドマンによるプレゼンテーションを企画。
- モデレーター：八田 浩 (オプト 取締役 ※インターネット広告小委員会副委員長)
- 登壇者：大久保光馬 (I&S BBDO メディアグループ デジタルプランニング)
伊澤璃里子 (アイレップ 第2営業本部第3営業局第1チーム アカウントプランナー)
貞包 一平 (アサツー ディ・ケイ デジタルビジネス本部プランナー)
北嶋 彩華 (朝日広告社 デジタルソリューション局メディアプロモーション局プログラマティック推進グループ)
伊藤 弘明 (オプト オンラインビデオアドソリューション部チームマネージャー)
瀧 智之 (オリコム デジタルソリューション局デジタルメディア部プログラマティックメディア担当)
有賀 翔平 (サイバーエージェント オンラインビデオソリューション局)
甲斐 拓人 (セブテーニ 第一アカウント本部第一営業部シニアアカウントプランナー)
筒井 花梨 (電通 デジタル・ビジネス局 メディア1部)
門井 舜 (東急エージェンシー ビジネス創造センター 第2インテグレートッドソリューション・グループ iメディア販売促進部メディアプランナー)
後藤 大樹 (日本経済社 第2営業局第1営業部)
山口 健 (博報堂DYメディアパートナーズ iメディア局iメディア部)

③ インターネット広告に関する情報収集とナレッジシェア

1) オンライン広告の共通指標の整備・中間報告について

オンライン広告の第三者的な評価としての「認知」効果の共通基盤整備を目的に、平成25年より実施している、ビデオリサーチのWeb調査をもとにした「オンライン広告の認知効果の尺度作りを目的とした調査結果」をとりまとめ、9月3日に、ビデオリサーチ・ビデオリサーチインタラクティブ並びに当協会によるオンライン広告効果の共通指標の整備に関する調査報告を会員各社へ発信した。

また、日本アドバイザーズ協会並びに関係媒体社に向けて、オンライン広告の広告認知効果について、同調査の報告を行い、協力を依頼した。

<調査概要>

調査方法：PCインターネット調査

調査期間：平成25年9月～26年3月、平成26年7月～27年3月
(原則毎月1回)

調査対象者：日本全国の20～69歳PCインターネットユーザー

調査回答者数：各回5,000サンプル

調査方法：1) 広告到達量の算出、2) アンケート調査(特性情報・広告認知等)

<オンライン広告の認知効果測定調査 報告>

- 報告期間：平成27年7月27日～10月19日
- 報告先：日本アドバタイザーズ協会、D2C、サイバー・コミュニケーションズ、エキサイト、NTTレゾナント、mediba、クックパッド、グーグル、LINE、楽天、カカクコム、アイスタイル、DAC、ヤフー、ニールセン、twitter、AOLプラットフォームズ、facebook

2) ネイティブ広告説明会

日本インタラクティブ広告協会の協力を得て、会員社限定のネイティブ広告説明会を以下の通り、開催した。

「ネイティブ広告説明会」

- 日時：平成27年7月22日(水) 10時30分～11時30分
- 会場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- プログラム：「インターネット広告に関するガイドラインの取り組みとネイティブ広告に関するガイドラインの策定について」
講師 釜田 康光(朝日新聞社 デジタル営業センター長補佐/JIAAネイティブ広告部会座長補佐)

- 参加費：無料
- 参加者：29名

3) JAAA「動画広告フォーラム2016(案)」について

標記セミナー開催にあたり、当小委員会が協力した。

・・・「テレビ小委員会」の項参照・・・

4) インターネット広告・基本セミナー報告

会員社限定で、インターネット広告をクライアントに正しく提案するためのセミナーを以下の通り、開催した。

「インターネット広告を今後強化したい広告会社のための第2回『ネット広告・基本セミナー』」

- 日時：平成28年3月22日(火) 16時～17時30分
- 会場：電通銀座ビル・8階・共用会議室
- 講師：植村 祐嗣(電通/インターネット広告小委員会委員長)
伊達 学(サイバーエージェント/インターネット広告小委員会副委員長)
中野 宣幸(オプト/インターネット広告小委員会委員)
- プログラム：1) インターネット広告の市場環境
2) ディスプレイ広告の歴史と進化

3) 質疑応答

- 参加費：無料
- 参加者：44名(17社) (前回52名25社)

(8) メディア調査研究小委員会 (委員長：牧野 聡)

①委員の交替等

■交替

戸叶 敏之(朝日広告社)

→ 高橋 玲子(同社 メディア本部メディアプランニング局メディアプランニング部局長兼部長)

稲村麻由子(日本経済社)

→ 増野美智子(同社 コミュニケーションプランニング局プランニング第1部プランニングディレクター)

吉野 琢生(博報堂DYメディアパートナーズ)

→ 西川 昌憲(同社 データドリブンメディアマーケティングセンターメディア・コンテンツマーケティング部部長)

→ 藤原 将史(同社 メディア・コンテンツマーケティング部部長)

■委員長・副委員長の互選

- 委員長：牧野 聡(電通)
- 副委員長：西川 昌憲(博報堂DYメディアパートナーズ)
→ 桃沢美穂子(東急エージェンシー)

②「民放 地上デジタル放送 視聴環境 世帯数調査」について

同調査データの会員社の利用に伴い、広告会社の調査データの運用に関する「データ利用方針」案について、1) 県別世帯、2) 県別人口(個人全体)、3) 県別人口(1歳刻み)、4) 県別職業別人口(1歳刻み)、の考え方について整理した。

③メディア調査・メディアソリューションに関する研究ヒアリング

- 1) 日本雑誌協会・日本雑誌広告協会「第2回雑誌広告効果測定調査 M-VALUE」
- 2) ニールセン「ニールセン デジタル広告視聴率」
- 3) スイッチ・メディア・ラボ「テレビ視聴データ分析サービス SMART」
- 4) ビデオリサーチ「これからの視聴率」

④関係団体のメディア調査活動との連携

- 1) オンライン広告効果の共通指標の整備について

ビデオリサーチ・ビデオリサーチインタラクティブ並びに当協会インターネット広告小委員会で主導している、オンライン広告効果の共通指標の整備を目標とした調査結果報告の説明があり、調査報告書に協力媒体社名を記載することなど、確認した。

- 2) 「現行視聴率調査にかかわる検討会」の推進

日本アドバタイザーズ協会、日本民間放送連盟、当協会による「現行視聴率調査にかかわる検討会」の幹事会を平成28年2月3日に開催、検討会を平成28年3月31日に開催、視聴率調査の「応諾率」「調査のメンテナンス」等定点観測データ等を確認した。

⑤メディア調査に関する資料の送付

会員社へ下記資料他をメール送信した。

◇「BS全国視聴データ」結果広報資料・報告

- ・平成27年 5月 8日 …2015年 4月度
- ・平成27年 5月28日 …2015年 5月度
- ・平成27年 6月25日 …2015年 6月度
- ・平成27年 7月31日 …2015年 7月度
- ・平成27年 8月27日 …2015年 8月度
- ・平成27年10月 6日 …2015年 9月度
- ・平成27年10月29日 …2015年10月度
- ・平成27年11月27日 …2015年11月度
- ・平成28年 1月 7日 …2015年12月度
- ・平成28年 1月29日 …2016年 1月度
- ・平成28年 2月29日 …2016年 2月度

◇「BS世帯普及率調査」結果広報資料・報告

- ・平成27年 9月16日 …2015年6月・9月度
- ・平成28年 3月18日 …2015年12月・2016年3月度

【3】クリエイティブ委員会 (担当理事：中田 安則 委員長：尾形 嘉寿)

【1】小委員会の活動

(1) 著作権小委員会

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への対応として、広告会社を含めた各プレーヤーの責任分担・権利課題を中心に検討した。テレビCMのオンライン運用の受け渡しに関する対価・権利処理の法務的な見地の検討を開始した。

(2) 制作取引小委員会

「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」への対応として、CM制作取引におけるコスト削減、制作会社・ポスプロ業界との対応、ローカルの広告会社への対応などを中心に検討した。

【4】広告料金表の発行

(1) 新聞広告料金表の発行

◇2015年上期版

- 発行日：平成27年6月1日
- 版形：B6判 260ページ
- 価格：会員 864円 一般 1,620円
- 部数：3,300部

◇2015年下期版

- 発行日：平成27年12月1日
- 版形：B6判 260ページ
- 価格：会員 864円 一般 1,620円
- 部数：3,300部

(2) 放送広告料金表2015年版の発行

- 発行日：平成27年8月1日
- 版 形：B6判 359ページ
- 価 格：会員 1,080円 一般 2,160円
- 部 数：2,200部

5 関係団体への参加・協力、他

【1】全国広告業団体連絡会議

(1) 平成26年度後期情報連絡会

4月28日、加盟25団体の内19団体が参加して開催、各地の景気状況、広告業界の動向等情報交換を行った。

景気状況は、消費税率引き上げ後、個人消費の回復は遅れたが底堅く推移し、全般に「一部に弱さが残るものの、穏やかな回復基調が続いている」との報告が多くを占めた。

広告業界については、各地の新聞広告・テレビ広告などメディアの売上は、対前年比100%前後の横這いの状況報告が多かった。福島県広告業協会や福井県広告業協会からは、広告業界を志す学生を対象としたセミナーの開催や若い人材の確保の課題等、業界の活性化の動きについて報告があった。

また、以下の課題について情報交換を行った。

- ◇地方創生予算獲得成功例
- ◇自治体（行政）との契約における契約保証金の納入について
- ◇CM素材オンライン運用検討プロジェクトについて

(2) 平成27年度前期情報連絡会

10月9日、加盟25団体の内23団体が参加して開催、各地の景気状況、広告業界の動向等情報交換を行った。

また、以下のテーマで情報交換を行った。

- ◇地方創生の各地の取り組み並びに当連絡会議で連携してできることについて
- ◇「消費者契約法」の対応について

(3) 平成27年度理事会・通常総会

前期連絡会終了後、17時30分より帝国ホテル・3階・舞の間で、加盟25団体の内17団体が参加して開催、以下の議案について承認した。

第1号議案 平成26年度事業報告並びに収支決算報告承認の件

第2号議案 平成27年度事業計画案並びに収支予算案承認の件

〈平成27年度役員〉

会 長 高嶋 達佳 (一般社団法人日本広告業協会・理事長)
 専務理事 村井 知哉 (一般社団法人日本広告業協会・専務理事)
 理 事 井上 幸三 (一般社団法人北海道広告業協会・会長)
 理 事 谷 尚樹 (名古屋広告業協会・幹事長)
 理 事 岩井 秀一 (一般社団法人大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会・理事長)
 理 事 増田 稔 (九州広告業協会・会長)
 監 事 加藤 昌幸 (福島県広告業協会・会長)
 監 事 和納 勉 (広告業協同組合・理事長)

(4) 全国広告業団体連絡会議の現勢 (平成27年8月末現在)

・加盟団体=25団体 [会員総数 857社]

北海道広告業協会	[会員= 36社]	青森県広告業協会	[会員= 11社]
岩手県広告業協会	[会員= 18社]	仙台広告業協会	[会員= 30社]
秋田県広告業協会	[会員= 20社]	山形県広告業協会	[会員= 20社]
福島県広告業協会	[会員= 22社]	栃木県広告業協会	[会員= 15社]
とやま広告業協会	[会員= 17社]	福井県広告業協会	[会員= 12社]
長野県広告業協会	[会員= 32社]	岐阜県広告業協会	[会員= 17社]
静岡県広告業協会	[会員= 42社]	名古屋広告業協会	[会員= 48社]
京都広告業協会	[会員= 20社]	大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会	[会員= 77社]
しまね広告業協会	[会員= 14社]	岡山県広告業協会	[会員= 32社]
山口県広告業協会	[会員= 18社]	九州広告業協会	[会員= 27社]
熊本県広告業協会	[会員= 22社]	鹿児島県広告業協会	[会員= 25社]
新聞案内広告協会	[会員= 19社]	広告業協同組合	[会員=113社]
日本広告業協会	[会員=150社]		

【2】協賛・後援名義の許諾

(1) 宣伝会議「AdverTimes DAYS 2015」…協力

- 主 催：宣伝会議
- 会 期：平成27年4月14日(火)～15日(水)
- 会 場：東京国際フォーラム 展示ホール

(2) 日本広告学会「クリエイティブ・フォーラム2015」…後援

- 主 催：日本広告学会クリエイティブ委員会
- 日 時：平成27年5月16日(土)
- 会 場：九州産業大学(福岡市東区松香台)
- テ ー マ：クリエイティブ九州スタイル～地方発のクリエイティブの可能性～

(3) 平成27年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」…協賛

- 主 唱：内閣府
- 参 加：内閣府、警察庁、金融庁、消費者庁、復興庁、総務省、法務省、最高検察庁、外務省、財務省、国税庁、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、防衛省、最高裁判所、都道府県、市区町村
- 期 間：平成27年7月1日（水）～31日（金）

(4) 第45回「日本プロモーション・マーケティング協会展」…協賛

- 主 催：日本プロモーション・マーケティング協会
- 会 期：平成27年10月14日（水）～16日（金）
- 会 場：東京都立産業貿易センター（台東館）6・7階
- 内 容：▶JPMクリエイティブ・ソリューション・アワード
▶JPMプランニング・ソリューション・アワード
▶GPA (Goodwill Promotion Alliance) アワード
▶見本市
▶プロモーション・マーケティングセミナー
▶「買い場展開ツール」デザインコンペティション

(5) デジタルサイネージ ジャパン2015…後援

- 主 催：デジタルサイネージジャパン実行委員会
- 会 期：平成27年6月10日（水）～12日（金）
- 会 場：幕張メッセ

(6) 「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」啓発ポスター…名義記載

- 主 催：大阪府府民文化部人権局
- 内 容：10月「大阪府部落差別事象に係る調査等の規制等に関する条例」啓発推進月間に使用するポスター
- 掲載期間：平成27年10月1日（木）～31日（土）

(7) 第4回「OAC学生広告 クリエイティブアワード2015」…後援

- 主 催：日本広告制作協会（OAC）
- 目 的：学生広告クリエイターのモチベーションアップ
- 応募資格：大学・専門学校在学中の学生
- 応募部門：平面、映像、Web
- 募集期間：平成27年5月1日（金）～9月30日（水）

(8) 第4回「OAC学生アイデアで社会をよりよくするコンテスト」…後援

- 主 催：日本広告制作協会（OAC）
- 目 的：社会に対して、問題意識を持ちクリエイティブなアイデアでその問題解決出来る人の育成支援
- 応募資格：大学・専門学校在学中の学生
- 応募様式：A3紙1枚
- 募集期間：平成27年10月1日（木）～平成28年1月31日（日）

(9) ad : tech tokyo 2015 (アドテック東京2015) …後援

- 主 催：ディーエムジー・イベント・ジャパン
- 会 期：平成27年12月1日(火)～2日(水)
- 会 場：東京国際フォーラム(千代田区丸の内)

(10) Advertising Week Asia 東京 …後援

- 主 催：Advertising Week Asia日本事務局イグナイト
- 会 期：平成28年5月30日(月)～6月2日(木)
- 会 場：東京ミッドタウンホール他(港区赤坂)

(11) アドアジア2015台北大会 研修ツアー …協賛

- 研修企画：全日本広告連盟
- 日 程：平成27年11月22日(日)～26日(木)
- 会 場：台北マリオットホテル

(12) ad :tech tokyo 2016 …後援

- 主 催：コムエキスポジアム・ジャパン
- 会 期：平成28年9月20日(火)～21日(水)
- 会 場：東京国際フォーラム(千代田区丸の内)

(13) ad :tech kansai 2016 …後援

- 主 催：コムエキスポジアム・ジャパン
- 会 期：平成28年12月1日(木)～2日(金)
- 会 場：グランフロント大阪(ナレッジキャピタル・コングレコンベンションセンター)(大阪
市北区)

(14) 第26回「京都広告賞・展」 …後援

- 主 催：京都広告業協会
- 募集期間：平成28年6月1日募集要項及び課題発表
作品受付=平成28年10月1日(土)～4日(火)
- 表 彰 式：平成28年11月18日(金)
- 会 場：京都商工会議所

●京都広告展

- 会 期：平成28年11月18日(金)～24日(木)
- 場 所：ゼスト御池(地下市役所前広場)

(15) 日本広告学会「クリエイティブ・フォーラム2016」 …後援

- 主 催：日本広告学会クリエイティブ委員会
- 日 時：平成28年5月21日(土)
- 会 場：博報堂本社(港区赤坂5-3-1)
- テ ー マ：広告クリエイティブの未来
～経営課題に応えるクリエイティブの可能性～

【字幕付きCM普及推進協議会】

◇情報アクセシビリティフォーラム2015・・・後援

- 主催：全日本ろうあ連盟
- 会期：平成27年12月12日（土）～13日（日）
- 会場：東京・秋葉原UDX他（千代田区秋葉原駅周辺）

【3】その他

(1) 平成28年広告界合同年賀会

広告関係30団体共催による合同年賀会を下記の通り開催した。

- 日時：平成28年1月6日（水）15時30分～17時
- 会場：帝国ホテル・2階・孔雀の間
- 参加者：1,698名
- 共催団体：全日本広告連盟、日本アドバタイザーズ協会、日本新聞協会、日本民間放送連盟、日本雑誌協会、日本雑誌広告協会、日本広告業協会、日本屋外広告業団体連合会、日本ABC協会、日本広告審査機構、日本マーケティング協会、日本マーケティング・リサーチ協会、日本パブリックリレーションズ協会、日本アド・コンテンツ制作社連盟、日本プロモーション・マーケティング協会、日本広告制作協会、日本BtoB広告協会、IAA日本国際広告協会、ACジャパン、広告業協同組合、新聞案内広告協会、東京屋外広告協会、全日本シーエム放送連盟、全日本ネオン協会、日本インタラクティブ広告協会、日本生活情報紙協会、衛星放送協会、広告審査協会、日本鉄道広告協会、日本新聞折込広告業協会

平成27年度会員社一覧(146社)

(平成28年3月31日現在)

(株)I & S B B D O	(株)京急アドエンタープライズ	(株)大 広 九 州	(株)日 本 経 済 社
(株)アイプラネット	(株)京成エージェンシー	(株)大広メディアックス	(株)日 本 廣 業 社
(株)アイレップ	廣 告 社(株)	大 東 廣 告(株)	(株)日 本 廣 告 社
(株)アサツー ディ・ケイ	(株)広 美	(株)タグ・ホールディングス	(株)日 本 広 明 社
(株)朝日エージェンシー	(株)広 明 通 信 社	(株)タ ン バ リ ン	(株)日 本 ス タ デ オ
(株)朝 日 オ リ コ ミ	(株)国 連 社	(株)中 央 ア ド 新 社	(株)博 報 堂
(株)朝 日 廣 告 社	(株)コスモ・コミュニケーションズ	(株)中 外	(株)博報堂DYホールディングス
(株)アド電通大阪	コ モ ン ズ(株)	(株)中 日 ア ド 企 画	(株)博報堂DYメディアパートナーズ
(株)アド・ベスト	(株)サーチアンドサーチファロン	(株)千 代 田 廣 告 社	(株)ハヤカワ・エージェンシー
(株)ADKインターナショナル	(株)サイバーエージェント	(株)T & T アド	ビーコン コミュニケーションズ(株)
(株)栄 光 社	(株)産 案	(株)TBWA\HAKUHODO	(株)B B D O J W E S T
(株)エイムクリエイツ	(株)三 栄 廣 告 社	(株)D A サ ー チ & リ ン ク	(株)ビデオプロモーション
(株)N K B	(株)S A N K O	(株)DGコミュニケーションズ	(株)双 葉 通 信 社
(株)H E L I O S	(株)三 晃 社	(株)デ ル フ ィ ス	(株)フ ロ ン テ ッ ジ
(株)E N J I N	(株)三友エージェンシー	(株)電 広 エ イ ジェンシー	(株)プライズコミュニケーション
(株)オーエムシー	(株)サ ン ラ イ ズ 社	(株)電 通	(株)ホ ー プ
(株)大手広告通信社	(株)三 和 廣 告 社	(株)電 通 ア ド ギ ア	(株)毎 日 廣 告 社
オグルヴィ&メイズ・ジャパン(同)	GMOアドパートナーズ(株)	(株)電 通 九 州	(株)マッキンエリクソン
(株)オゾンネットワーク	(株)ジェイアール東海エージェンシー	(株)電 通 西 日 本	(株)松 本 廣 告
(株)小田急エージェンシー	(株)JR西日本コミュニケーションズ	(株)電 通 東 日 本	(株)ム サ シ ノ 廣 告 社
(株)オ プ ト	(株)ジェイアール東日本企画	(株)電 通 北 海 道	メディアエムジー(株)
オ リ オ ン S P (株)	ジェイウォルター・トンプソン・ジャパン(同)	(株)電 通 名 鉄 コミュニケーションズ	メディカルクオール(株)
(株)オリコム	(株)JTBコミュニケーションズ	電通ヤング・アンド・ルビカム(株)	(株)メ デ ィ ッ ク ス
(株)ガイアコミュニケーションズ	(株)シ ネ ブ リ ッ ジ	(株)東映エージェンシー	(株)メトロアドエージェンシー
(株)ギャンビット	(株)シマ・クリエイティブハウス	東 栄 廣 告(株)	(株)モメンタム ジャパン
(株)キョウエイアドインターナショナル	(株)春 光 社	(株)東急エージェンシー	(株)山形アドビューロ
(株)協同エージェンシー	(株)昭 通	(株)東京アドエージェンシー	(株)大 和 通 信 社
(株)共同広告社	(株)新 弘 社	(株)とうこう・あい	(株)読 売 I S
(株)協 同 宣 伝	(株)新 通	(株)東 興 社	(株)読売エージェンシー
(株)京橋エイジェンシー	(株)新 東 通 信	(株)東 宣	(株)読 売 廣 告 社
協 立 廣 告(株)	(株)真 和	(株)東 通 メ デ ィ ア	(株)読 売 連 合 廣 告 社
(株)協 和 企 画	(株)伸和エージェンシー	(株)T O M O E	(株)ライダーズ・パブリシティ
(株)近 宣	(株)スタンダード通信社	(株)内 藤 一 水 社	
(株)クオラス	(株)誠 通	(株)西 広	
(株)グリーンポート・エージェンシー	(株)セ プ テ ー ニ	(株)西鉄エージェンシー	
(株)グレイワールドワイド	(株)相鉄エージェンシー	(株)日 経 弘 報 社	
(株)ケー・アンド・エル	(株)第 一 通 信 社	(株)ニ ッ ト ー	
(株)京王エージェンシー	(株)大 広	(株)日 本 経 済 廣 告 社	

(社名50音順)

平成27年度役員一覧

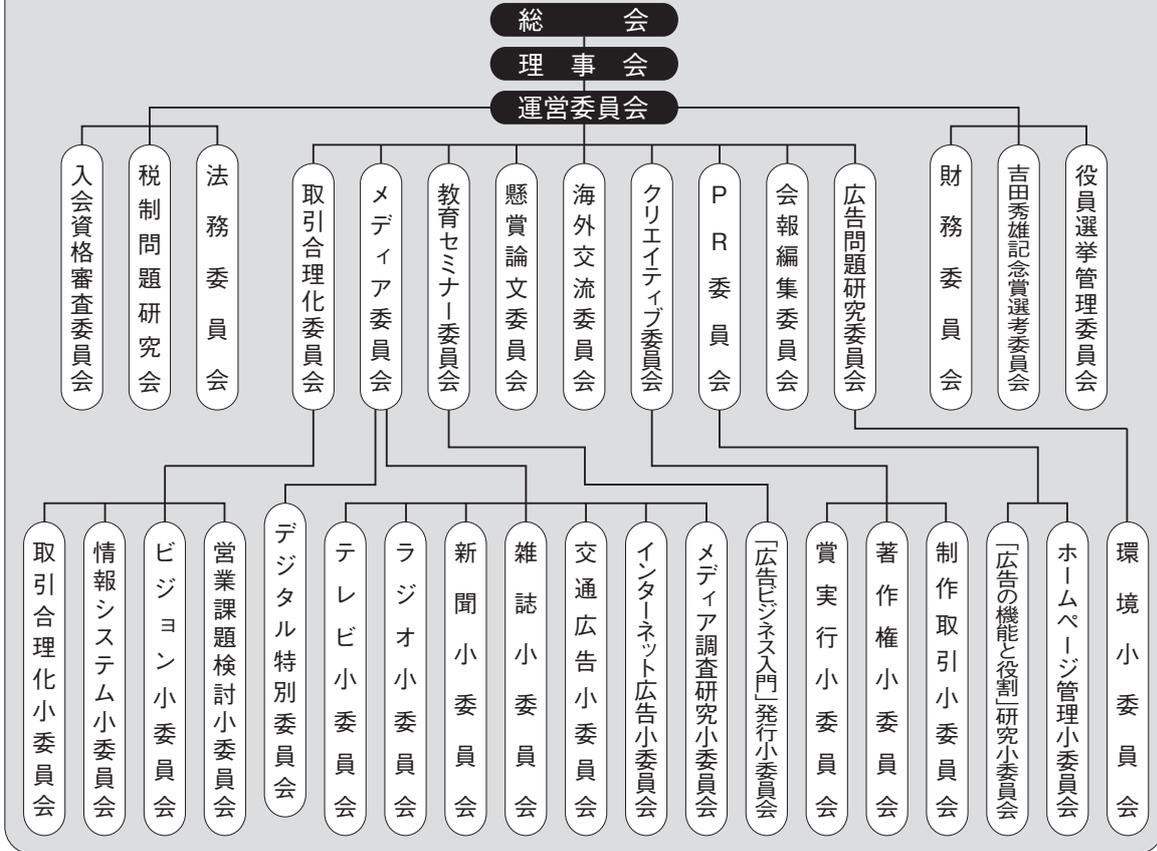
(平成28年3月31日現在) (敬称略)

会 長	侯木 盾夫	株式会社	電通	相談役
理 事 長	高嶋 達佳	株式会社	電通	会長
副理事長	長沼孝一郎	株式会社	アサツー ディ・ケイ	最高顧問
	岩井 秀一	株式会社	大広	代表取締役会長
	成田 純治	株式会社	博報堂	取締役会長
専務理事	村井 知哉			
理 事	加藤 和豊	株式会社	I&S BBDO	代表取締役社長&CEO
	上田 周	株式会社	朝日広告社	代表取締役社長
	滝 久雄	株式会社	NKB	取締役会長創業者
	大塚 尚司	株式会社	オリコム	代表取締役社長
	櫻井 正伍	株式会社	協和企画	会長
	加藤 雅己	株式会社	クオラス	代表取締役社長
	渋谷 由美	株式会社	グレイワールドワイド	代表取締役社長兼CEO
	川村 悌式	株式会社	三晃社	代表取締役会長
	阿久津光志	株式会社	ジェイアール東海エージェンシー	代表取締役社長
	小暮 和之	株式会社	ジェイアール東日本企画	代表取締役社長
	阿部 榮人	株式会社	昭通	代表取締役社長
	大塚 徹哉	株式会社	第一通信社	取締役相談役
	中井 昌幸	株式会社	デルフィス	代表取締役社長
	猪瀬 洋一	電通ヤング・アンド・ルビカム株式会社		代表取締役社長
	桑原 常泰	株式会社	東急エージェンシー	代表取締役社長
	鐘ヶ江輝久	株式会社	とうこう・あい	代表取締役会長
	神田橋 治	株式会社	TOMOE	代表取締役社長
	内藤 好徳	株式会社	内藤一水社	会長
	丹羽 信一	株式会社	日本経済広告社	代表取締役社長
	富田 賢	株式会社	日本経済社	代表取締役社長
	水野 俊作	株式会社	日本広告社	代表取締役社長
	戸田 裕一	株式会社	博報堂DYホールディングス	代表取締役社長
	大森 壽郎	株式会社	博報堂DYメディアパートナーズ	代表取締役社長
	岡田 徹	株式会社	フロンテッジ	代表取締役社長
	関口 英明	株式会社	毎日広告社	代表取締役社長
	片木 康行	株式会社	マッキャンエリクソン	代表取締役社長兼CEO
	中田 安則	株式会社	読売広告社	代表取締役社長
監 事	湯澤 齐	広告社株式会社		代表取締役会長
	正呂地英男	株式会社	電通東日本	代表取締役社長
	早川 浩	株式会社	ハヤカワ・エージェンシー	代表取締役社長

【平成27年度各委員会委員】

平成28年3月現在

■ 委員会組織 ■



【運営委員会】

委員長	長沼孝一郎	アサツー ディ・ケイ
委員	櫻井正伍	協和企画
	岩井秀一	大広
	石井直	電通
	桑原常泰	東急エージェンシー
	鐘ヶ江輝久	とうこう・あい
	内藤好徳	内藤一水社
	丹羽信一	日本経済広告社
	成田純治	博報堂
	大森壽郎	博報堂DYメディアパートナーズ
	中田安則	読売広告社
	村井知哉	協会・専務理事

【入会資格審査委員会】

委員長	内藤好徳	内藤一水社
委員	加藤和豊	I&S BBDO
	加藤武	アサツー ディ・ケイ
	大塚尚司	オリコム

委員	岩井秀一	大広
	中本祥一	電通
	丹羽信一	日本経済広告社
	沢田邦彦	博報堂
	村井知哉	協会・専務理事

【税制問題研究会】

委員	平山工	I&S BBDO
	宇野沢史紀	アサツー ディ・ケイ
	福島淳史	朝日広告社
	高橋弘光	オリコム
	野沢和彦	大広
	中野智司	電通
	市之瀬和博	東急エージェンシー
	内藤好之	内藤一水社
	高橋明彦	日本経済社
	西岡正紀	博報堂DYホールディングス
	小島億一	読売広告社

〔法務委員会〕

委員長	永江 禎	電通
委員	真栄田祐子	I&S BBDO
	久保田 直	アサツー ディ・ケイ
	野田佳也	朝日広告社
	吉山泰弘	広告社
	清水秀哉	ジェイアール東日本企画
	古河崎敏夫	大広
	北川幸夫	東急エージェンシー
	高橋克幸	日本経済社
	増田 浩	博報堂
	近藤啓司	マッキンゼーエリクソン
	竹村 護	読売広告社

特別委員会

【財務委員会】

委員長	長沼孝一郎	アサツー ディ・ケイ
委員	野沢和彦	大広
	中本祥一	電通
	鐘ヶ江輝久	とうこう・あい
	沢田邦彦	博報堂
	村井知哉	協会・専務理事

【吉田秀雄記念賞選考委員会】

委員長	内藤好徳	内藤一水社
委員	加藤 武	アサツー ディ・ケイ
	櫻井正伍	協和企画
	川村悌式	三晃社
	岩井秀一	大広
	中本祥一	電通
	鐘ヶ江輝久	とうこう・あい
	丹羽信一	日本経済広告社
	沢田邦彦	博報堂

【役員選挙管理委員会】

委員長	丹羽信一	日本経済広告社
委員	上田 周	朝日広告社
	鐘ヶ江輝久	とうこう・あい
	内藤好徳	内藤一水社
	中田安則	読売広告社

事業委員会

【取引合理化委員会】

担当理事	岩井秀一	大広
委員長	加藤 讓	電通
委員	竹原克郎	I&S BBDO
	加藤 武	アサツー ディ・ケイ
	酒井淳三	朝日広告社
	田中友行	ジェイアール東日本企画
	野沢和彦	大広
	澁谷尚幸	東急エージェンシー
	岸 直彦	博報堂
	西岡正紀	博報堂DYホールディングス
	金銅磯美	マッキンゼーエリクソン
	中島 均	読売広告社
	村井知哉	協会・専務理事

〔取引合理化小委員会〕

委員長	中野智司	電通
委員	平山 工	I&S BBDO
	宇野沢史紀	アサツー ディ・ケイ
	福島淳史	朝日広告社
	新井正人	ジェイアール東日本企画
	山本泰弘	大広
	市之瀬和博	東急エージェンシー
	畔 大	博報堂
	鳴嶋吟子	博報堂DYホールディングス
	石井孝次郎	博報堂DYメディアパートナーズ
	二村 雄	マッキンゼーエリクソン
	飯塚 了	読売広告社

〔情報システム小委員会〕

委員長	川上 勲	博報堂DYホールディングス
副委員長	柳瀬由紀	ジェイアール東日本企画
委員	小松しのぶ	I&S BBDO
	太田雅人	アサツー ディ・ケイ
	昼間久史	朝日広告社
	近藤岳彦	オリコム
	坂井文博	昭通
	奥村卓也	電通
	後藤三幸	東急エージェンシー
	坂田和也	日本経済社
	中嶋茂信	博報堂DYメディアパートナーズ
	堀居 真	マッキンゼーエリクソン

〔ビジョン小委員会〕

委員長	鈴木俊和	アサツー ディ・ケイ
副委員長	喜早冬比古	電通
	夏目 穰	博報堂
委員	竹原克郎	I&S BBDO

委員 和田好弘 朝日広告社
萩原浩平 ジェイアール東日本企画
木村俊之 大広
太田貴之 東急エージェンシー
松浦良高 マックャンエリクソン
水本宏毅 読売広告社

〔営業課題検討小委員会〕

委員長 橋爪恒二郎 電通
副委員長 小泉日出雄 アサツー ディ・ケイ
菅井陽司 博報堂
委員 前田一郎 朝日広告社
山口勝 ジェイアール東日本企画
山内秀樹 大広
荒木久一郎 東急エージェンシー
遠藤温 マックャンエリクソン
橋本大輔 読売広告社

【メディア委員会】

担当理事 大森壽郎 博報堂DYメディアパートナーズ
委員長 高田佳夫 電通
委員 松井薫 I&S BBDO
亀井典明 アサツー ディ・ケイ
野中昭弘 朝日広告社
弓矢政法 ジェイアール東日本企画
高橋雅弘 大広
杉浦修 東急エージェンシー
影山和憲 博報堂
宮崎育久 博報堂DYメディアパートナーズ
齋藤幸蔵 マックャンエリクソン
藤沼大輔 読売広告社
村井知哉 協会・専務理事

〔デジタル特別委員会〕

委員長 外山善太 博報堂DYメディアパートナーズ
副委員長 大川英明 アサツー ディ・ケイ
岩崎史朗 電通
委員 西田幸代 I&S BBDO
野村直美 アサツー ディ・ケイ
入岡祥隆 朝日広告社
久保孝広 ジェイアール東日本企画
池上巧 東急エージェンシー
末澤淳 博報堂DYメディアパートナーズ
松岡隆将 マックャンエリクソン

〔テレビ小委員会〕

委員長 桜井徹哉 博報堂DYメディアパートナーズ

副委員長 和田尚志 アサツー ディ・ケイ
林朋夫 電通
高橋宏昭 博報堂DYメディアパートナーズ
委員 難波秀幸 I&S BBDO
湯澤大介 朝日広告社
桜井靖 ジェイアール東日本企画
尾崎満 東急エージェンシー
宮田武俊 フロンテッジ
天明涉 マックャンエリクソン
専門委員 小松しのぶ I&S BBDO
有田圭司 アサツー ディ・ケイ
亀田卓 電通
池上巧 東急エージェンシー
外山善太 博報堂DYメディアパートナーズ
末澤淳 博報堂DYメディアパートナーズ

〔ラジオ小委員会〕

委員長 大木秀幸 博報堂DYメディアパートナーズ
副委員長 小島一洋 アサツー ディ・ケイ
松本卓哉 電通
委員 須賀学 I&S BBDO
湯澤大介 朝日広告社
後藤伸二 クオラス
伊藤雄介 三晃社
杉浦興 デルフィス
佐藤光浩 東急エージェンシー
財津研太郎 マックャンエリクソン

〔新聞小委員会〕

委員長 東末吉史 博報堂DYメディアパートナーズ
副委員長 細野和也 アサツー ディ・ケイ
前田真一 電通
委員 難波秀幸 I&S BBDO
加藤博文 朝日広告社
月野木麻里 東急エージェンシー
下村雅美 日本経済広告社
小島尚隆 日本経済社
財津研太郎 マックャンエリクソン

〔雑誌小委員会〕

委員長 大井淳司 アサツー ディ・ケイ
副委員長 高橋秀文 電通
月野木麻里 東急エージェンシー
東正之 博報堂DYメディアパートナーズ
委員 難波秀幸 I&S BBDO
上田睦子 朝日広告社
中山健 互栄社

委員 桜井 靖 ジェイアール東日本企画
高橋 信明 デルフィス
吉田 千史 双葉通信社
財津研太郎 マックャンエリクソン

〔交通広告小委員会〕

委員長 小野寺忠之 春光社
副委員長 菊田 眞弘 NKB
委員 杉本 隆 アサツデー・ケイ
長屋 和男 オリコム
田草川 靖 協立広告
古川 義夫 ジェイアール東日本企画
阿部 晋治 電通
那波 俊哉 東急エージェンシー
鍋島 義博 TOMOE
松尾 良太 博報堂DYメディアパートナーズ

〔インターネット広告小委員会〕

委員長 植村 祐嗣 電通
副委員長 伊達 学 サイバーエージェント
大堀 益弘 博報堂DYメディアパートナーズ
委員 田所 太洋 I&S BBDO
紺野 俊介 アイレップ
柳田建治郎 アサツデー・ケイ
大城 勝浩 朝日広告社
中野 宜幸 オプト
岸本 暢之 オリコム
水谷 泰之 廣告社
鈴木 雄太 セブテーニ
田中 康寛 東急エージェンシー
伊藤 耕 日本経済社
小高 治正 博報堂DYメディアパートナーズ
千賀 由久 マックャンエリクソン

〔メディア調査研究小委員会〕

委員長 牧野 聡 電通
副委員長 白土 栄次 オリコム
桃沢美穂子 東急エージェンシー
委員 宇野 貴子 I&S BBDO
大沼 陽介 アサツデー・ケイ
高橋 玲子 朝日広告社
猪岡 昇 大広
増野美智子 日本経済社
松尾 靖 博報堂
藤原 将史 博報堂DYメディアパートナーズ
山本 博子 マックャンエリクソン
水谷 謙一 読売広告社

【教育セミナー委員会】

担当理事 桑原 常泰 東急エージェンシー
委員長 松浦 啓子 オリコム
委員 愛甲 知己 I&S BBDO
金澤 直也 アサツデー・ケイ
雑賀 啓介 三晃社
富川 隆 ジェイアール東日本企画
三栗谷信明 大広
増子 裕介 電通
澤田 桐智 東急エージェンシー
門田 昌晃 日本経済社
中馬 淳 博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
小岩井由紀子 マックャンエリクソン
高木 康志 読売広告社

〔「広告ビジネス入門」発行小委員会〕

委員長 中馬 淳 博報堂/博報堂DYメディアパートナーズ
委員 野出 朋子 I&S BBDO
渋谷 浩幸 アサツデー・ケイ
林 秀一 電通
澤田 桐智 東急エージェンシー

【懸賞論文委員会】

担当理事 丹羽 信一 日本経済広告社
委員長 喜早冬比古 電通
委員 若月 健 I&S BBDO
益田 一 アサツデー・ケイ
大城 勝浩 朝日広告社
白土 栄次 オリコム
井上 庸子 クオラス
加藤 肇 ジェイアール東日本企画
森 一彦 大広
福原 宏理 東急エージェンシー
天野 泰司 日本経済広告社
河内 茂 日本経済社
岩崎 拓 博報堂
岡崎 茂生 フロンテッジ
半田 浩和 マックャンエリクソン
戸村 康則 読売エージェンシー
浜田 茂 読売広告社

【海外交流委員会】

担当理事 成田 純治 博報堂
委員長 杉本 一夫 日本経済広告社
委員 橋本 隆一 アサツデー・ケイ
林 志摩 オグルヴィ・アンド・メイザー・ジャパン
金澤 大輔 オプト

委員 森田尚子 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
小林 晃 大広
馬場章正 電通
小泉喜由 日本経済社
小野崎 健 日本広告社
高橋 修 博報堂
大木美代子 マックカンエリクソン
古賀正和 読売広告社

【クリエイティブ委員会】

担当理事 中田安則 読売広告社
委員長 尾形嘉寿 I&S BBDO
委員 清水 健 アサツー ディ・ケイ
橋本和人 朝日広告社
大塚 靖 クオラス
尾形 靖 グレイワールドワイド
長谷川 聡 三晃社
金森 誠 ジェイアール東日本企画
曾原 剛 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
松元一郎 第一通信社
田中昌宏 大広
古川裕也 電通
能登健裕 東急エージェンシー
戸澤清彦 日本経済社
藤井 久 博報堂
溝口俊哉 マックカンエリクソン
笠原章弘 読売広告社

【賞実行小委員会】

委員長 田中昌宏 大広
委員 西村 剛 I&S BBDO
園田正明 アサツー ディ・ケイ
鈴木裕子 電通
篠原エリ子 博報堂
太田理奈子 読売広告社

【著作権小委員会】

委員長 小竹伸幸 博報堂
委員 高橋俊治 I&S BBDO
平野康子 アサツー ディ・ケイ
寺林憲宏 大広
渡部秀人 電通
中西 開 電通
森村芳永 博報堂
近藤啓司 マックカンエリクソン
富永正久 読売広告社

【制作取引小委員会】

委員長 沼澤 忍 電通
副委員長 寺坂要一 アサツー ディ・ケイ
子延雅基 博報堂
委員 谷口裕信 I&S BBDO
佐藤和人 アサツー ディ・ケイ
大塚 靖 クオラス
宮川貫治 グレイワールドワイド
長谷川 聡 三晃社
金森 誠 ジェイアール東日本企画
中村太郎 大広
岩崎史朗 電通
野田高澄 東急エージェンシー
田中 斉 東急エージェンシー
河野直之 日本経済社
山本貴美子 博報堂
小竹伸幸 博報堂
永浦利康 博報堂
西森 聡 マックカンエリクソン
鈴木賢二 読売広告社

【PR委員会】

担当理事 鐘ヶ江輝久 とうこう・あい
委員長 西川淳一郎 博報堂
委員 小田島 薫 I&S BBDO
中島 香 アサツー ディ・ケイ
和田好弘 朝日広告社
長谷川千春 大広
斎藤 浩 電通
飯島康裕 電通ヤング・アンド・ルビカム
西村大輔 東急エージェンシー
佐々木光洋 日本経済社
山崎正道 博報堂DYメディアパートナーズ
大木美代子 マックカンエリクソン

【「広告の機能と役割」研究小委員会】

委員長 西村 泉 大広
副委員長 成田 聡 朝日広告社
委員 板川昌弘 I&S BBDO
田口 仁 アサツー ディ・ケイ
望月 裕 電通
長沢朋哉 電通ヤング・アンド・ルビカム
清水 徹 東急エージェンシー
河内 茂 日本経済社
大美賀秀治 博報堂
松本 順 マックカンエリクソン

〔ホームページ管理小委員会〕

委員長 西川淳一郎 博報堂
 委員 田所太洋 I&S BBDO
 山崎恭彦 アサツー ディ・ケイ
 木下浩二 電通
 佐々木光洋 日本経済社

【会報編集委員会】

担当理事 内藤好徳 内藤一水社
 委員長 安斉昇 昭通
 委員 高澤正行 I&S BBDO
 鳴原透 アイブラネット
 雄鹿郁夫 アサツー ディ・ケイ
 大塚実 ジェイアール東日本企画
 石川芳人 ジェイ・ウォルター・トンプソン・ジャパン
 長谷川千春 大広
 丹野和生 電通
 高橋庸江 東急エージェンシー
 加藤進久 日本広告社
 岩代孝之 博報堂
 乗杉直哉 読売広告社

【広告問題研究委員会】

担当理事 櫻井正伍 協和企画
 委員長 北原利行 電通
 委員 殿村良彦 アサツー ディ・ケイ
 池田正明 朝日広告社
 福井淳一郎 大広
 林朋夫 電通
 永江禎 電通
 近藤康之 東急エージェンシー
 喜藤昌美 内藤一水社
 柳本英樹 博報堂
 樋口友子 博報堂DYメディアパートナーズ
 松本武士 マッキャンエリクソン
 門脇匡 読売広告社

〔環境小委員会〕

委員長 川谷愛作 博報堂
 委員 中村由美子 アサツー ディ・ケイ
 高城佐知子 廣告社
 井上理子 ジェイアール東日本企画
 川口二穂 大広
 大司洋二郎 電通
 山本充裕 東急エージェンシー
 大堀須美子 フロンテッジ
 篠野有紀子 マッキャンエリクソン

委員 耕作清光 読売広告社

平成27年度

会務概記

<平成27年>

4月 6日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 7日～10日 第43回新入社員教育セミナー
 10日 会計検査
 13日 監査
 14日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 15日 財務委員会
 役員選挙管理委員会
 16日 運営委員会
 テレビ小委員会
 17日 著作権小委員会
 メディア調査研究小委員会
 21日 環境小委員会
 懸賞論文委員会
 雑誌小委員会
 23日 ビジョン小委員会
 24日 第284回理事会
 28日 全国広告業団体連絡会議・平成26年度後期
 情報連絡会
 5月12日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 海外交流委員会
 13日 雑誌小委員会・メディア調査研究小委員会
 合同委員会
 雑誌小委員会
 21日 取引合理化小委員会
 22日 ラジオ小委員会
 営業課題検討小委員会
 25日 テレビ小委員会
 26日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 6月 1日 平成27年度定時総会・第285回理事会
 4日 インターネット広告小委員会
 5日 著作権小委員会
 9日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 12日 会報編集委員会
 入会資格審査委員会
 16日 「広告の機能と役割」研究小委員会
 17日 テレビ小委員会・デジタル特別委員会合同
 委員会
 テレビ小委員会
 デジタル特別委員会
 18日 「広告ビジネス入門」発行小委員会

23日 情報システム小委員会
 24日 ラジオ小委員会
 7月 1日 新聞小委員会
 2日 第13回「CM素材オンライン運用検討プロ
 ジェクト」
 「第45回懸賞論文」エントリー説明会
 3日 運営委員会
 6日 海外交流委員会
 7日 「広告の機能と役割」研究小委員会セミナー
 8日 デジタル特別委員会
 「APACエフィー・アワード2015」受賞報告
 会
 10日 第286回理事会
 13日 テレビ小委員会
 法務委員会
 14日 第73回JAAAクリエイティブ研究会
 15日 ラジオ小委員会
 営業課題検討小委員会
 16日 メディア調査研究小委員会
 17日 第57回名広協クリエイティブ研究会
 22日 ネイティブ広告説明会
 インターネット広告小委員会
 23日 情報システム小委員会
 教育セミナー委員会
 テレビ小委員会
 24日 ビジョン小委員会
 27日 会報編集委員会
 28日 著作権小委員会
 29日 制作取引小委員会
 31日 テレビ広告懇談会
 8月 3日 有事対応会議
 4日 広告法務セミナー
 5日 第14回「CM素材オンライン運用検討プロ
 ジェクト」
 第42回海外広告研修団 第1回事前研修会
 6日 デジタル特別委員会
 新聞小委員会
 7日 メディア調査研究小委員会
 11日 環境小委員会
 18日 営業課題検討小委員会
 24日 制作取引小委員会

	テレビ小委員会		説明会
25日	クリエイティブ委員会		海外交流委員会・海外広告研修団帰国報告会
26日	メディア委員会		
	取引合理化委員会	11月 5日	賞実行小委員会
28日	「スパイクス アジア2015」研修ツアー 事前研修会	6日	運営委員会
9月 2日	広告問題研究委員会		第33回JAAAクリエイティブ研究会・福岡
4日	運営委員会	9日	有事対応会議
7日	「スパイクス アジア2015」研修ツアー 出発	10日～11日	第21回フォローアップセミナー
11日	大阪・広告法務セミナー 第287回理事会	11日	ラジオ小委員会
12日	「スパイクスアジア2015」研修ツアー 帰国	12日	第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞（ICA）」審査会
14日	ラジオ小委員会	13日	第288回理事会
15日	賞実行小委員会	16日	「広告の機能と役割」研究小委員会
	第42回海外広告研修団 第2回事前研修会		テレビ小委員会
16日	情報システム小委員会	17日	懸賞論文Cグループ審査会、Bグループ審査会
24日	会報編集委員会	18日	法務委員会
	テレビ小委員会		会報編集委員会
25日	第33回HAAAクリエイティブ研究会		懸賞論文Aグループ審査会、Dグループ審査会
27日	第42回海外広告研修団 出発	19日	法務委員会セミナー
30日	第15回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」	20日	京都クリエイティブトーク2015
10月 2日	ラジオ小委員会	24日	吉田秀雄記念賞選考委員会
5日	環境小委員会	25日	交通広告セミナー
	第42回海外広告研修団 帰国	26日	インターネット広告小委員会
7日	クリエイティブ委員会		クリエイティブ委員会
8日	PR委員会	27日	海外交流委員会
9日	全国広告業団体連絡会議・平成27年度前期 情報連絡会 理事会・通常総会	12月 1日	2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー 募集開始
14日	入会資格審査委員会		「広告の機能と役割」研究小委員会
	デジタル特別委員会	2日	雑誌小委員会
	情報システム小委員会	4日	「広告ビジネス入門」発行小委員会
15日	「広告ビジネス入門」発行小委員会	8日	平成27年度会員代表者懇談会
16日	第13回SAAAクリエイティブ研究会（浜松） 懸賞論文委員会	10日	第3回「広告業界の若手が選ぶ、コミュニケーション大賞」第二次審査会 第29回「広告と人権セミナー」
19日	インターネット広告小委員会	11日	メディア調査研究小委員会
20日	テレビ小委員会		PR委員会
22日	著作権小委員会	15日	第16回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」
	会計検査	16日	教育セミナー委員会
23日	取引合理化小委員会		ラジオ小委員会
	字幕付きCM普及推進協議会 第1回運営委員会		情報システム小委員会
27日	監査	17日	「広告の機能と役割」研究小委員会
29日	「APACエフィー・アワード2016」エントリー	18日	デジタル特別委員会

21日	テレビ小委員会			クリエイティブ委員会
24日	第3回「広告業界の若手を選ぶ、コミュニケーション大賞」最終審査		23日	インターネット広告小委員会
28日	仕事納め		24日	財務委員会
<平成28年>				ラジオ小委員会
1月 5日	仕事始め		25日~26日	懸賞論文最終審査会
6日	平成28年広告界合同年賀会		26日	懸賞論文委員会
7日	ビジョン小委員会		3月 1日	第17回「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」
	懸賞論文Dグループ審査会、Cグループ審査会		2日	「広告の機能と役割」研究小委員会
8日	懸賞論文Bグループ審査会、Aグループ審査会			広告問題研究委員会
13日	環境小委員会			交通広告小委員会
14日	営業課題検討小委員会		3日	デジタル特別委員会
15日	情報システム小委員会			個人情報保護セミナー
	テレビ小委員会		4日	運営委員会
	インターネット広告小委員会		7日	第74回JAAAクリエイティブ研究会
19日	取引合理化小委員会		9日	第44回新入社員教育セミナー講師打ち合わせ会
	雑誌小委員会			教育セミナー委員会
	ラジオ小委員会			「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」説明会（名古屋）
20日	新聞小委員会		10日	「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」説明会（大阪）
	メディア調査研究小委員会		11日	第290回理事会
21日	デジタル特別委員会			記者発表会
22日	交通広告小委員会		16日	テレビ小委員会・デジタル特別委員会合同委員会
	吉田秀雄記念賞選考委員会		17日	「広告の機能と役割」研究小委員会
25日	メディア委員会			海外交流委員会
	取引合理化委員会		22日	第2回「字幕付きCMセミナー」（大阪）
26日	PR委員会			第2回「インターネット広告・基本セミナー」
	テレビ広告懇談会		25日	法務委員会
	「広告の機能と役割」研究小委員会			ラジオ小委員会
28日	運営委員会		28日	クリエイティブ委員会
	会報編集委員会		29日	入会資格審査委員会
29日	「CM素材オンライン運用検討プロジェクト」説明会		30日	会報編集委員会
2月 4日	第289回理事会		31日	「広告の機能と役割」研究小委員会
5日	海外交流委員会			有事対応会議
8日	賞実行小委員会			
15日	JAAA「動画広告フォーラム2016」			
16日	制作取引小委員会			
17日	「広告の機能と役割」研究小委員会			
18日	著作権小委員会			
	テレビ小委員会			
22日	2015年クリエイター・オブ・ザ・イヤー賞審査会			